

四條畷市市民団体アンケート調査結果報告書

令和6年2月

四條畷市市民生活部地域振興課

目次

I	調査の概要	3
II	調査結果	
1	貴団体について	
	問1 . 団体名を教えてください。	4
	問2 . 団体の活動年数（活動を始めてからの年数）はどれくらいですか。（一つだけ）	4
	問3 . 団体の現時点の会員数はどのくらいですか。（一つだけ）	5
	問4 . 団体の主な活動地域について。（一つだけ）	6
	問5-1 . 団体の活動分野はどれですか。（最も当てはまる分野：一つだけ）	7
	問5-2 . 団体の活動分野はどれですか。（他に当てはまる全ての分野：複数回答可）	8
	問6 . 団体の活動頻度はどれくらいですか。（一つだけ）	9
	問7 . 団体の主な活動の性格について。（一つだけ）	10
	問8 . 団体の会則、規約、定款などがありますか。（一つだけ）	11
	問9 . 団体のおおよその年間支出額について。（一つだけ）	12
	問10-1 . 団体の収入源について。（最も大きい収入源：一つだけ）	13
	問10-2 . 団体の収入源について。（他の当てはまる収入源：複数回答可）	14
2	団体の活動場所について	
	問11-1 . 団体の活動で主に利用している場所はどこですか。（準備や打合せの場所：3つ以内）	15
	問11-2 . 団体の活動で主に利用している場所はどこですか。（活動や事業を実施する場所：3つ以内）	16
	問11-3 . 公共施設を利用する際の主な申し込み方法について。（一つだけ）	17
	問11-4 . 公共施設の利用を予約する際、窓口で予約申込みを行っている主な理由について。（複数回答可）	18
	問11-5 . 公共施設の利用に係る予約申込手続きにおいて、改善してもらいたい内容等について。（自由記述）	19
3	団体の課題等について	
	問12-1 . 活動の中での課題や問題点について。（一つだけ）	21
	問12-2 . 課題がある場合、その課題や問題点について。（複数回答可）	22
	問13 . あなたの団体が必要としているのはどのような人ですか。（複数回答可）	23
	問14 . 人材確保のために取り組みたいことについて。（複数回答可）	24
	問15 . 団体の活動に必要な情報について。（複数回答可）	25

4 団体間の連携・ネットワークについて

問 1 6. 他の団体と連携して活動を行ったことについて。(複数回答可) 2 6

問 1 7. 今後どのような団体と連携・ネットワークをお考えですか。(複数回答可) 2 7

5 公募型補助金について

問 1 8. この制度について知っていますか。また知っている場合、ご意見がございましたらご記入ください。(一つだけ) 2 8

6 団体の活動の継続・発展について

問 1 9. 団体の活動を継続・発展に必要なことについて。(複数回答可) 3 1

問 2 0. 団体の組織運営や事業実施について、困ったときに相談しに行くところがありますか(市内外は問わない)。(一つだけ) 3 2

問 2 1. 団体の活動する上での市の支援に期待するものについて。(3つ以内) . . 3 3

7 団体や活動の変化について

問 2 2. あなたの団体の活動は、発足当時と現在とを比べて変わっていますか。(一つだけ) 3 4

問 2 3. 団体の活動を続けてきて、よかったと思うことは何ですか。(複数回答可) 3 7

8 団体の今後の活動について

問 2 4. 今後の団体活動の意向(方針等)はどのようにお考えですか。(一つだけ) 3 8

問 2 5. 団体の5年後の姿として一番近いと思われるものはどれですか。(一つだけ)

3 9

9 自由記述意見

問 2 6. 市民活動、協働のまちづくり等について自由にご意見等をお書きください。(自由記述) 4 0

III 市民団体アンケート調査票 4 5

I 調査の概要

1 目的

住民と行政が協働で取り組むまちづくりを推進するにあたって、協働の主体の一つである市民団体などの実態や課題を把握し、行政としての支援策を検討する基礎資料を得ることを目的として実施。

2 調査の対象

市内で活動する市民団体（308団体）

※調査対象団体は、全部署（社会福祉協議会含む）において把握している市民団体で、各担当部署において調査が必要と判断した団体。なお、調査票が届かなかった団体で送付を希望される場合は、各担当部署へ問い合わせがあれば随時対応した。

3 調査期間

令和5年9月27日（水）から令和5年10月18日（水）まで

4 調査の方法

【発送方法】

郵送、電子メール、FAX、手渡し

【回答方法】

WEB、郵送、持参のいずれか

5 回答状況

配布数	回答数	回答率	回答内訳	
			郵送・持参	WEB
308	176	57.1%	121	55

6 調査結果の表示方法

- (1) 回答は、各質問の回答者数を基礎とした百分率で示し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。
- (2) 複数回答が可能な質問の場合、割合の総和は100%を超える場合があります。
- (3) 本報告書の表の見出し及び文章中での質問及び回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。
- (4) 報告書中のグラフにおいて、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略されている場合があります。
- (5) 個人、団体等が特定されると考える箇所は削除しています。また、その他欄に回答いただいた事項について、選択肢の回答項目に関係しそうな内容は、振り分けていません。

Ⅱ 調査結果

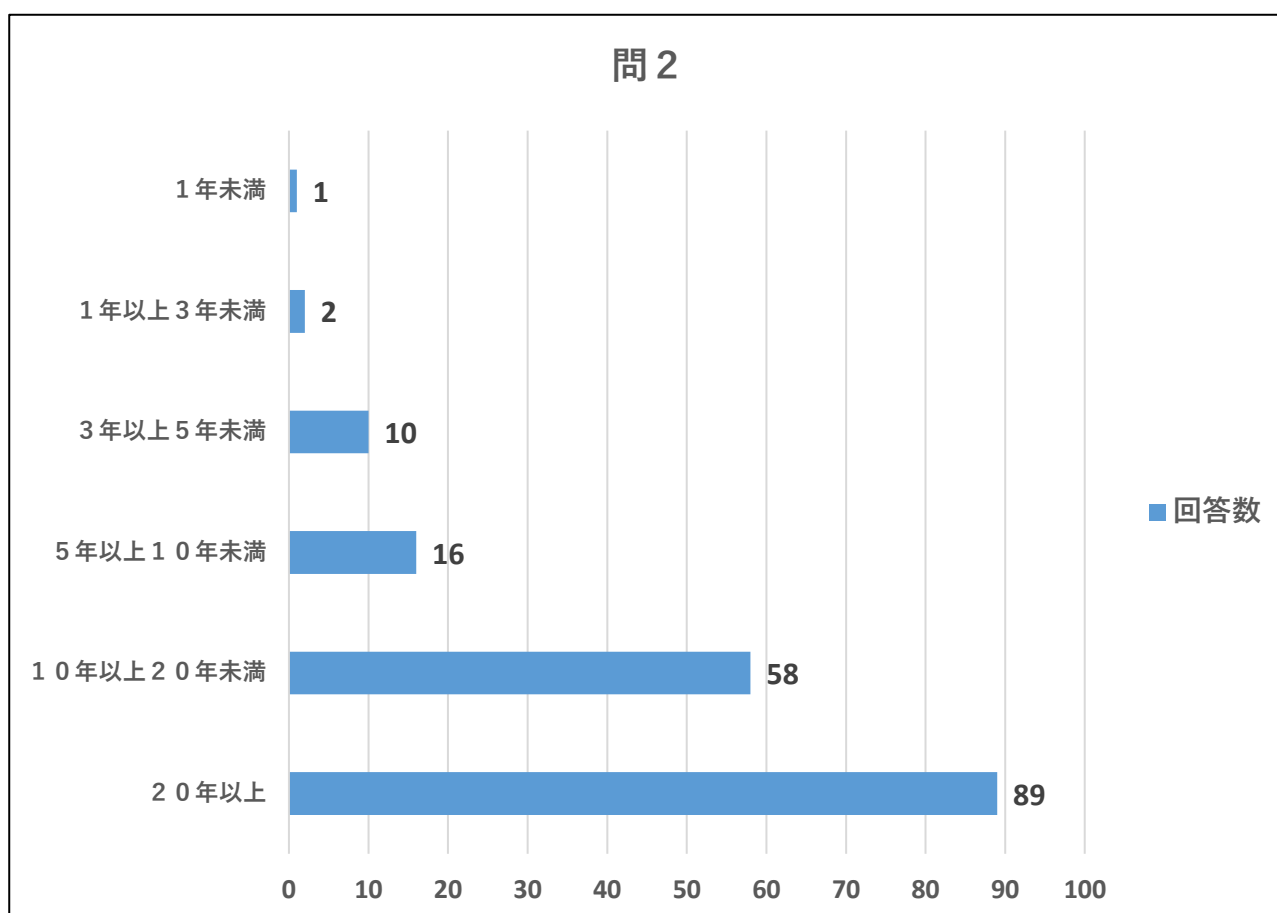
1 貴団体について

問1. 団体名を教えてください。

※団体名を記入する質問のため、回答は未掲載。

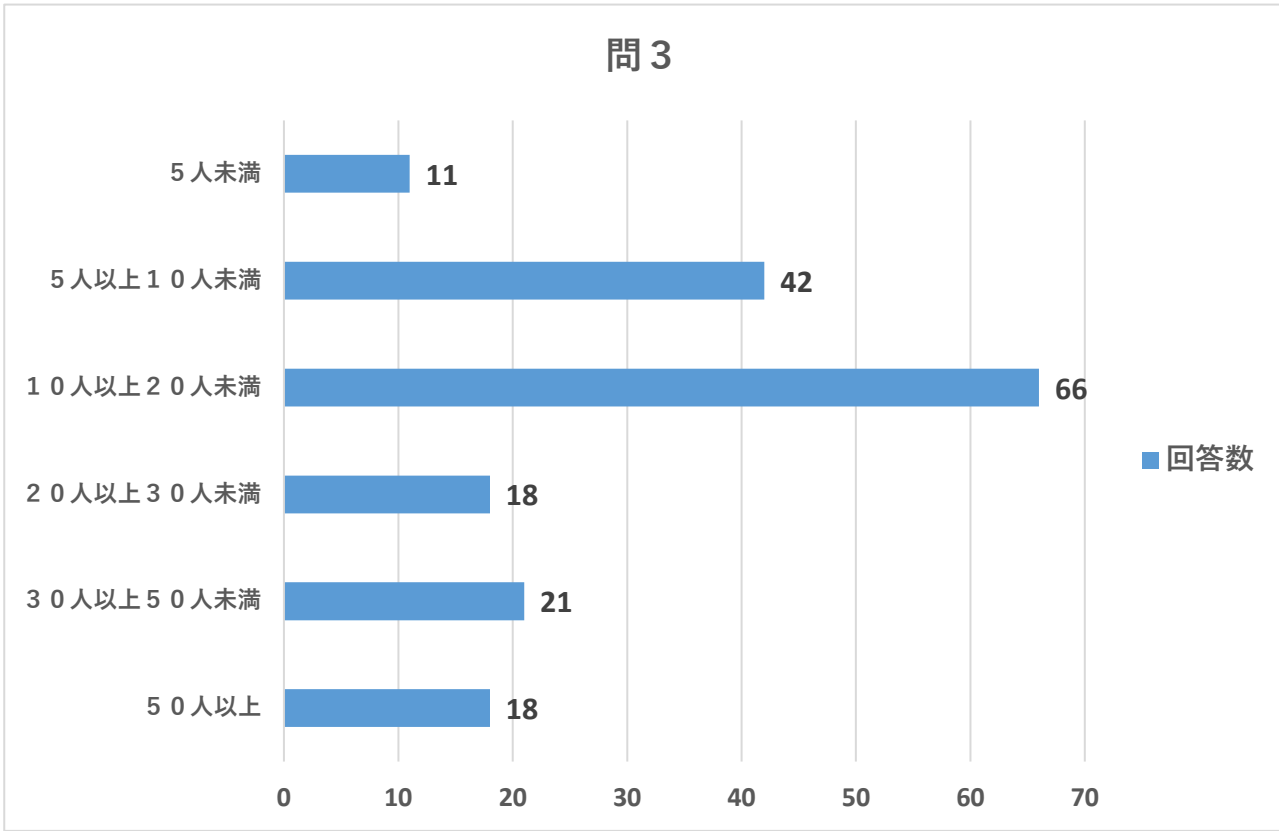
問2. 団体の活動年数（活動を始めてからの年数）はどれくらいですか。（一つだけ）

団体の活動年数は、「20年以上」が50.6%と最も多く、「10年以上20年未満」が33.0%、「5年以上10年未満」が9.1%と続いた。



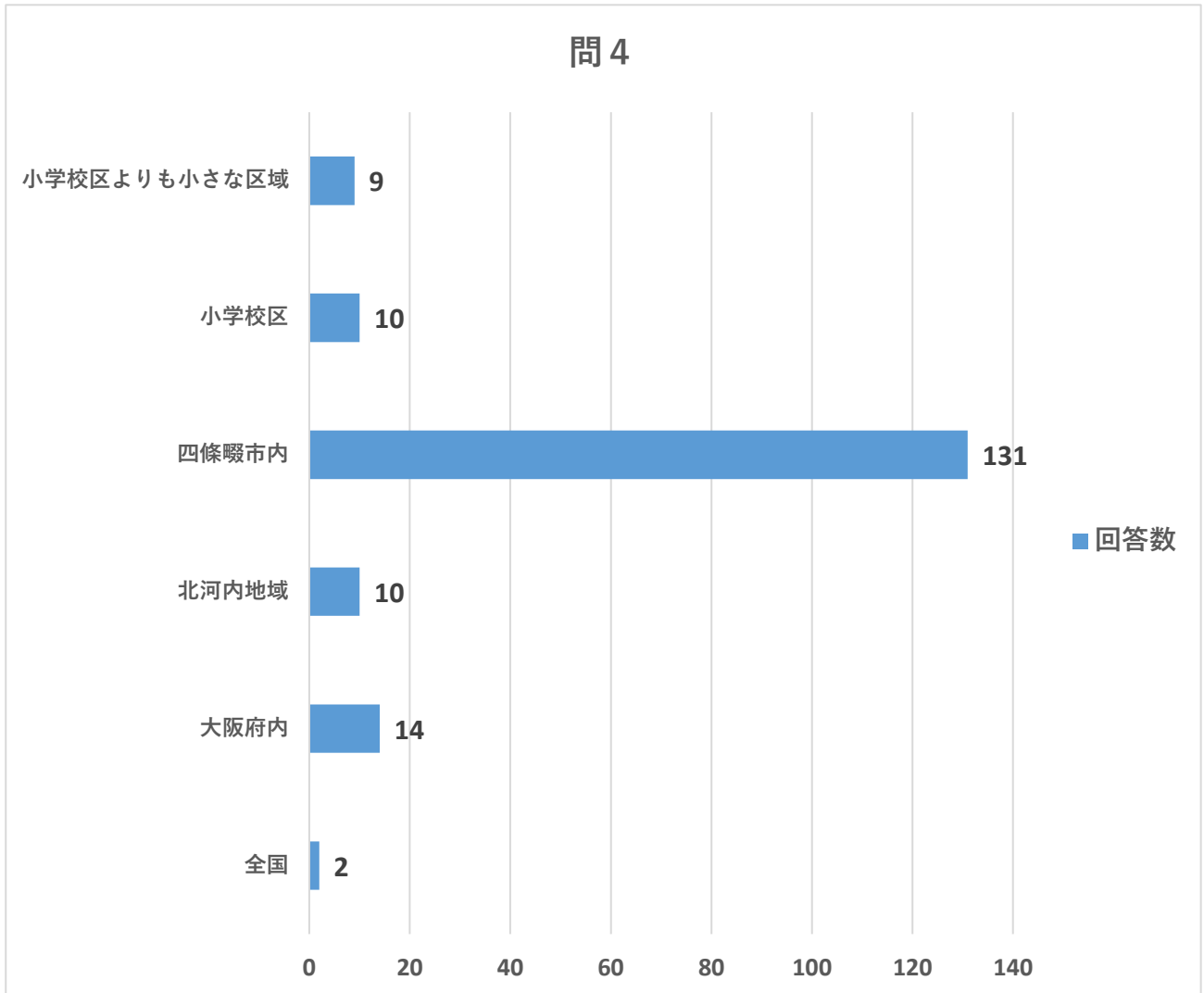
問3. 団体の現時点の会員数はどのくらいですか。(一つだけ)

団体の現時点の会員数は、「10人以上20人未満」が37.5%と最も多く、「5人以上10人未満」が23.9%、「30人以上50人未満」が11.9%と続いた。



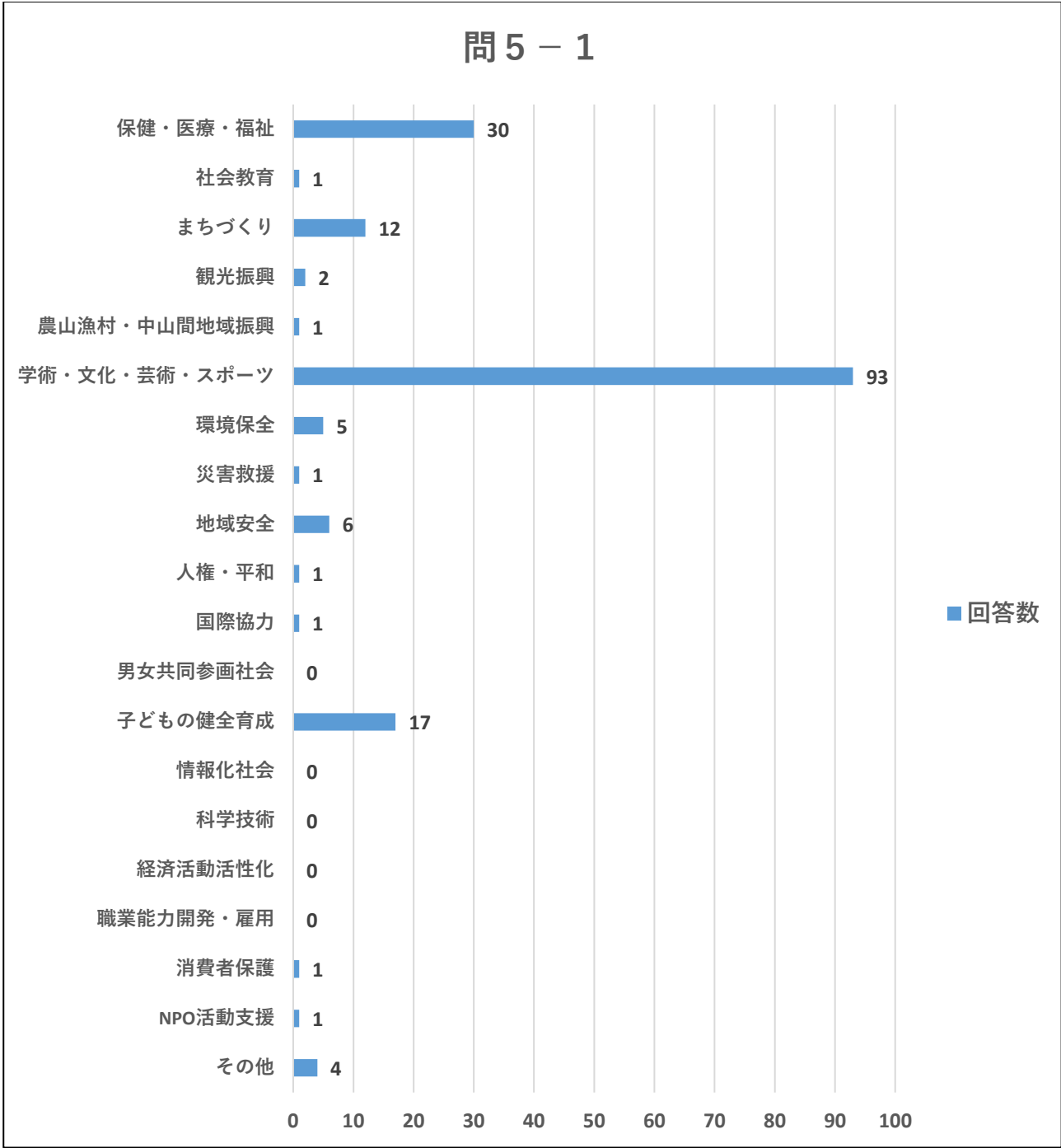
問4. 団体の主な活動地域について。(一つだけ)

団体の主な活動地域は、「四條畷市内」が74.4%と最も多く、「大阪府内」が8.0%、「小学校区」「北河内地域」がそれぞれ5.7%と続いた。



問5-1. 団体の活動分野はどれですか。(最も当てはまる分野：一つだけ)

団体の最たる活動分野は、主な分野として「学術・文化・芸術・スポーツ」が52.8%、「保健・医療・福祉」が17.0%、「子どもの健全育成」が9.7%と続いた。

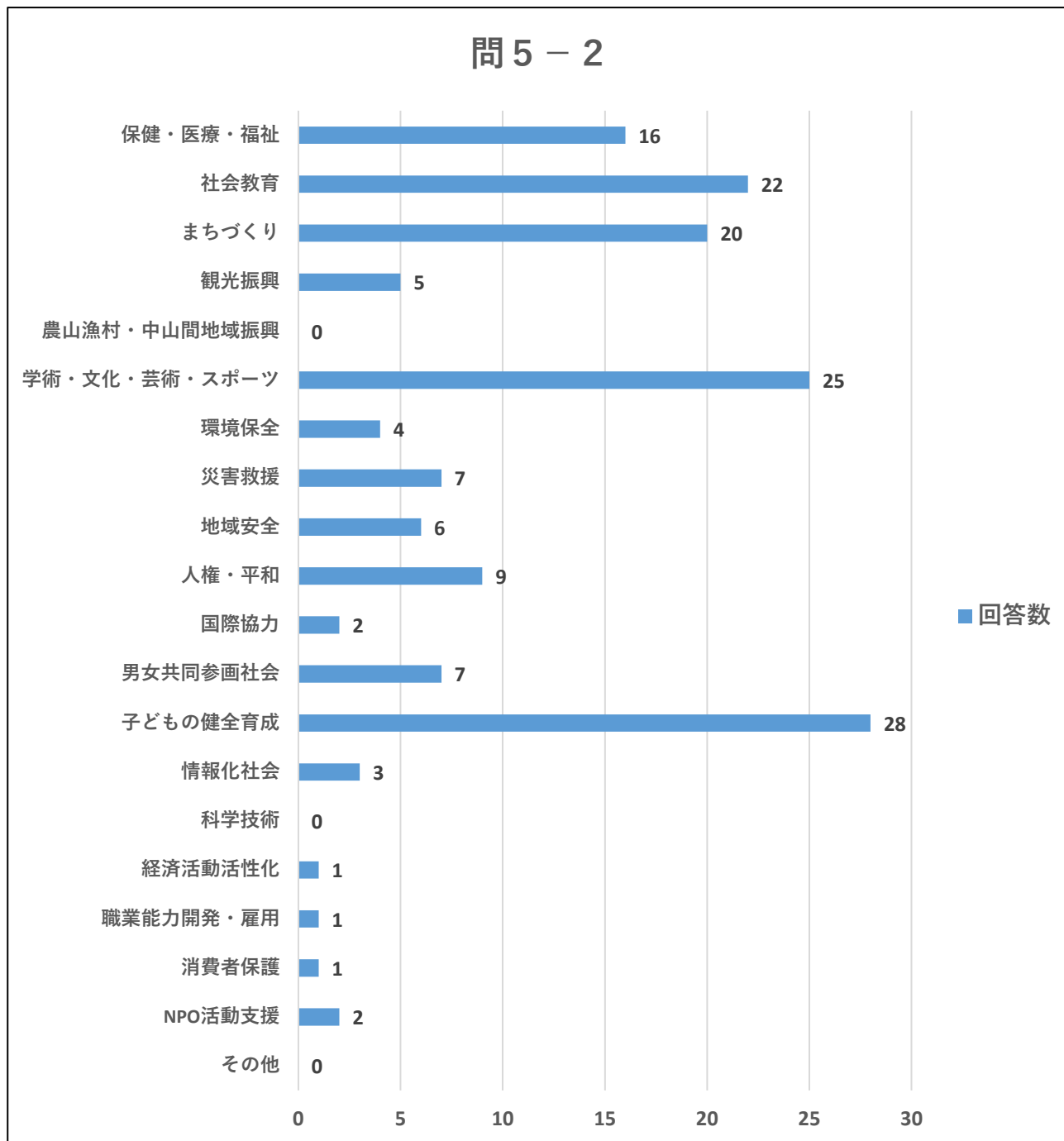


●その他

- ・小生不在につき活動不可

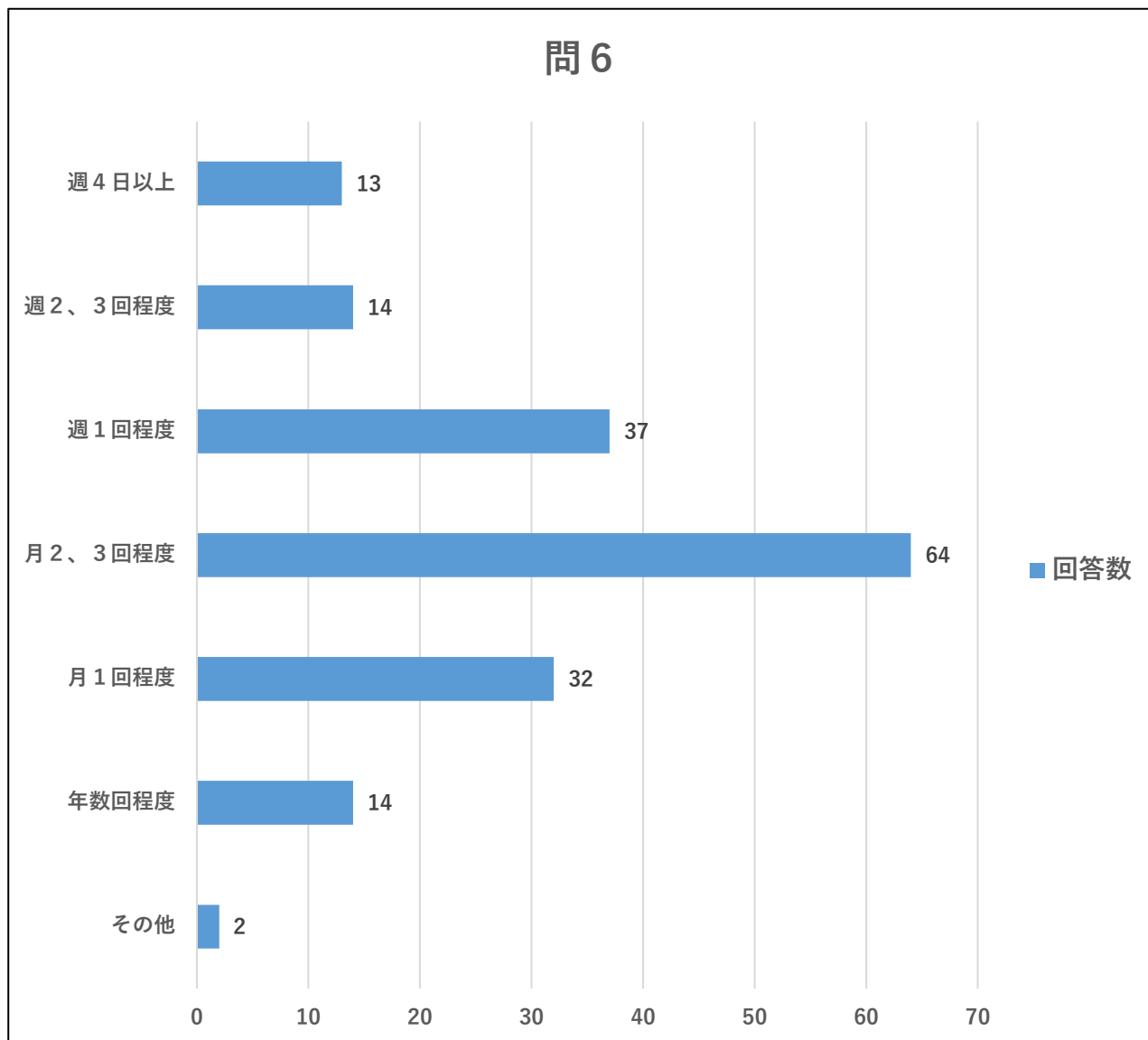
問5-2. 団体の活動分野はどれですか。(他に当てはまる全ての分野：複数回答可)

団体の他に当てはまる活動分野は、主な分野として「子どもの健全育成」が15.9%、「学術・文化・芸術・スポーツ」が14.2%、「社会教育」が12.5%と続いた。



問6. 団体の活動頻度はどれくらいですか。(一つだけ)

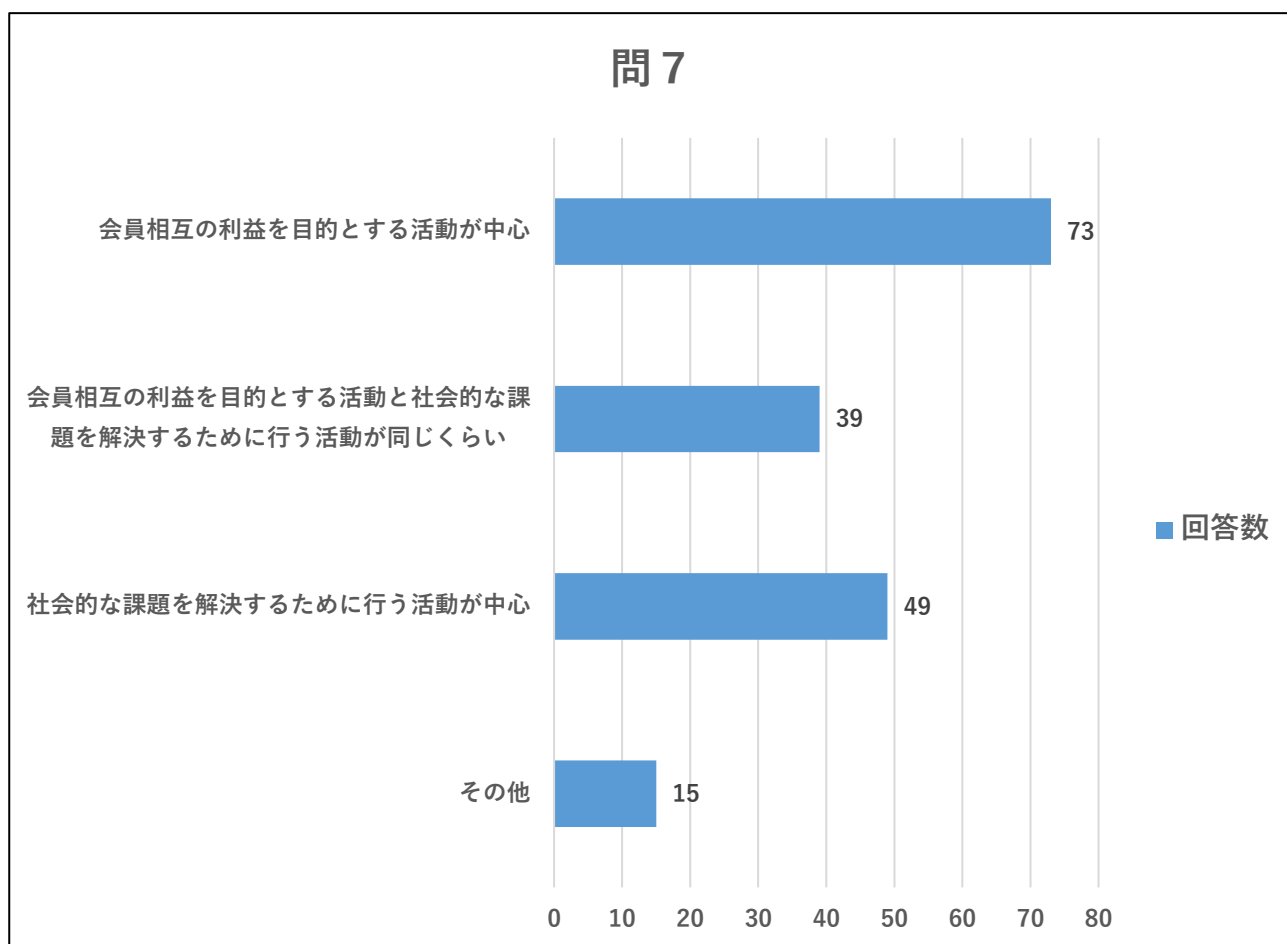
団体の活動頻度は、「月2、3回程度」が36.4%と最も多く、「週1回程度」が21.0%、「月1回程度」が18.2%と続いた。



- その他
 - ・イベント前は特別練習をしている
 - ・コロナで施設のニーズによる

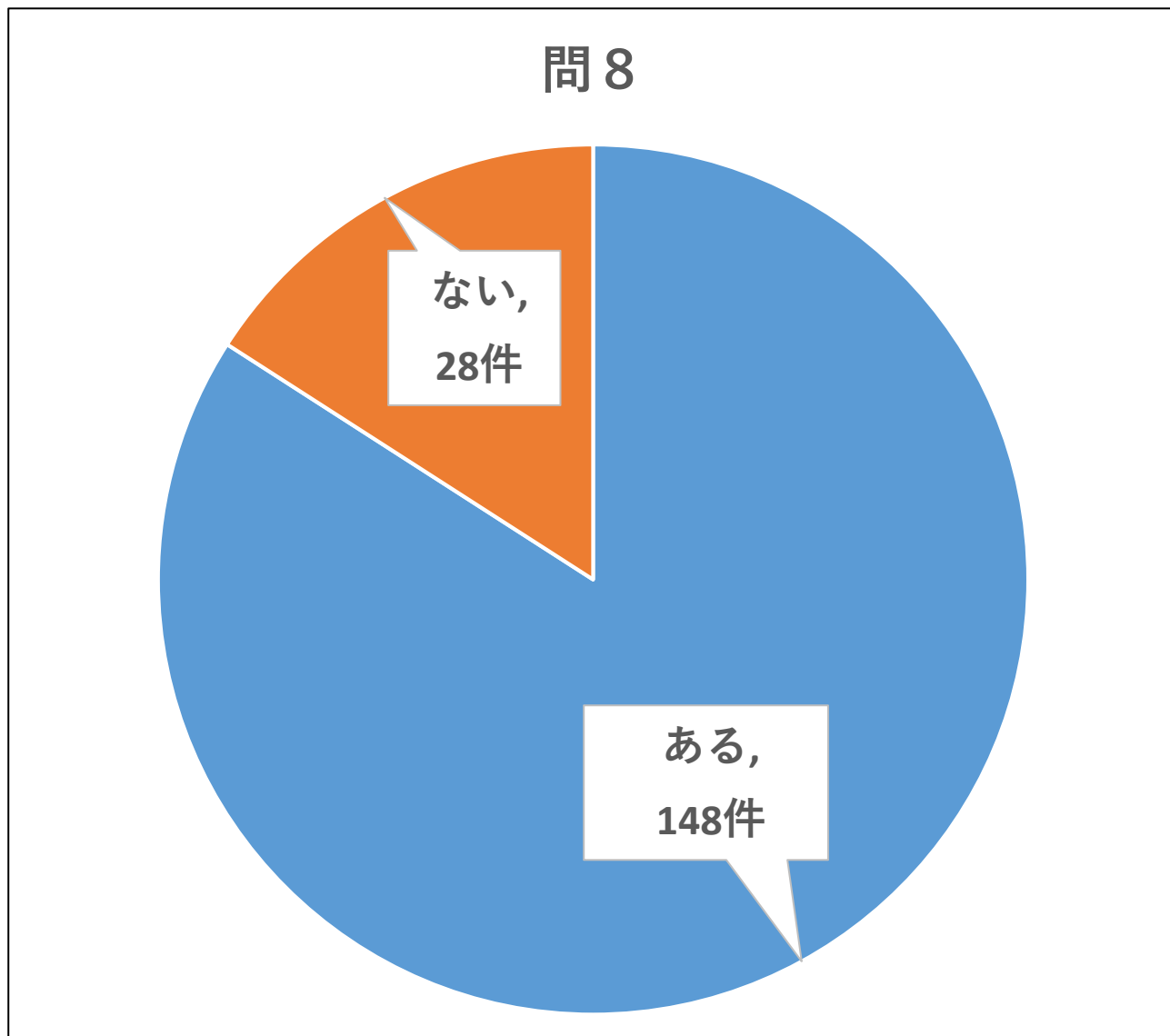
問7. 団体の主な活動の性格について。(一つだけ)

団体の主な活動の性格は、「会員相互の利益を目的とする活動が中心」が41.5%と最も多く、「社会的な課題を解決するために行う活動が中心」が27.8%、「会員相互の利益を目的とする活動と社会的な課題を解決するために行う活動が同じくらい」が22.2%と続いた。



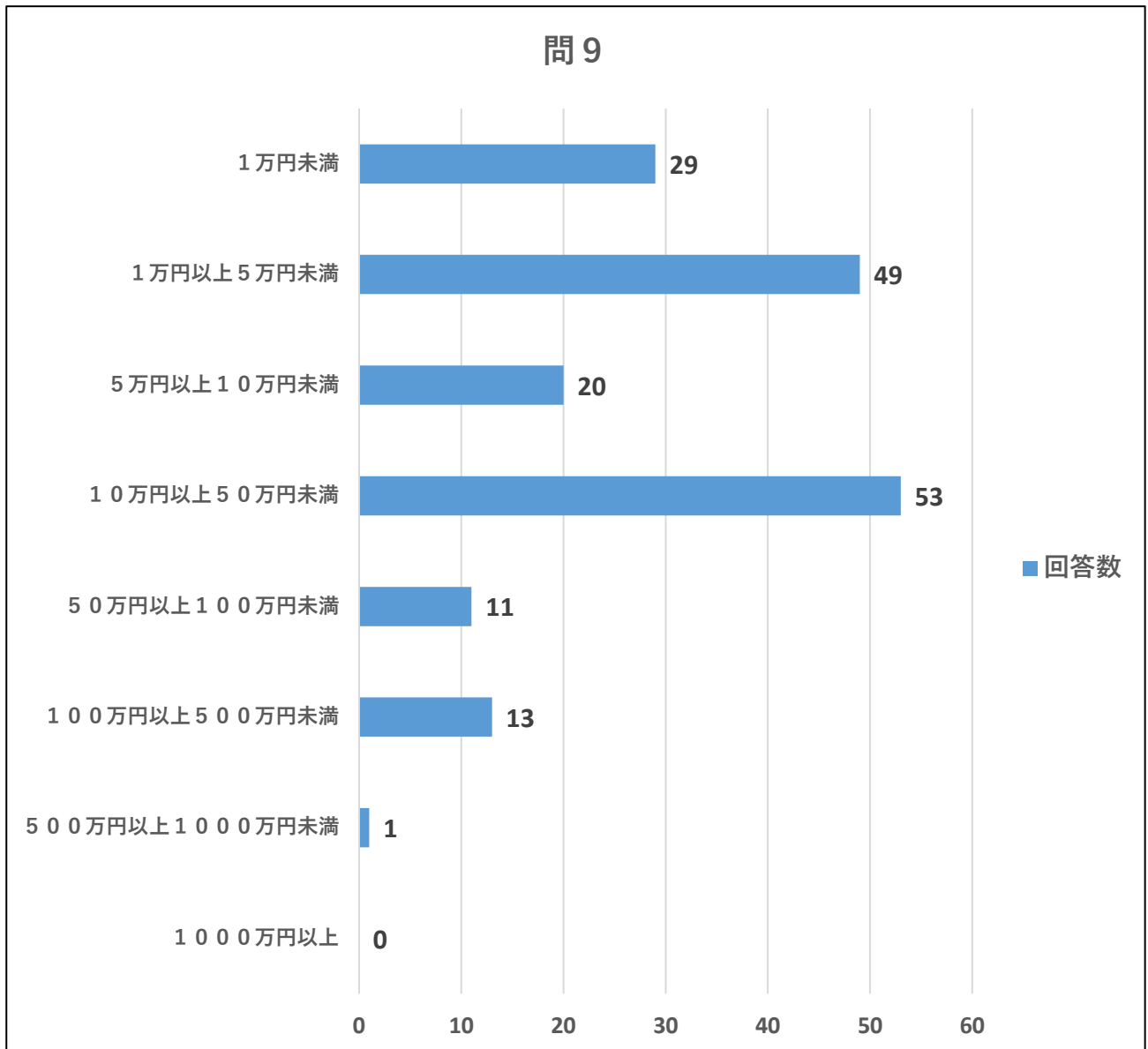
問 8 . 団体の会則、規約、定款などがありますか。(一つだけ)

団体の会則、規約、定款などがあるかは、「ある」が84.1%、「ない」が15.9%であった。



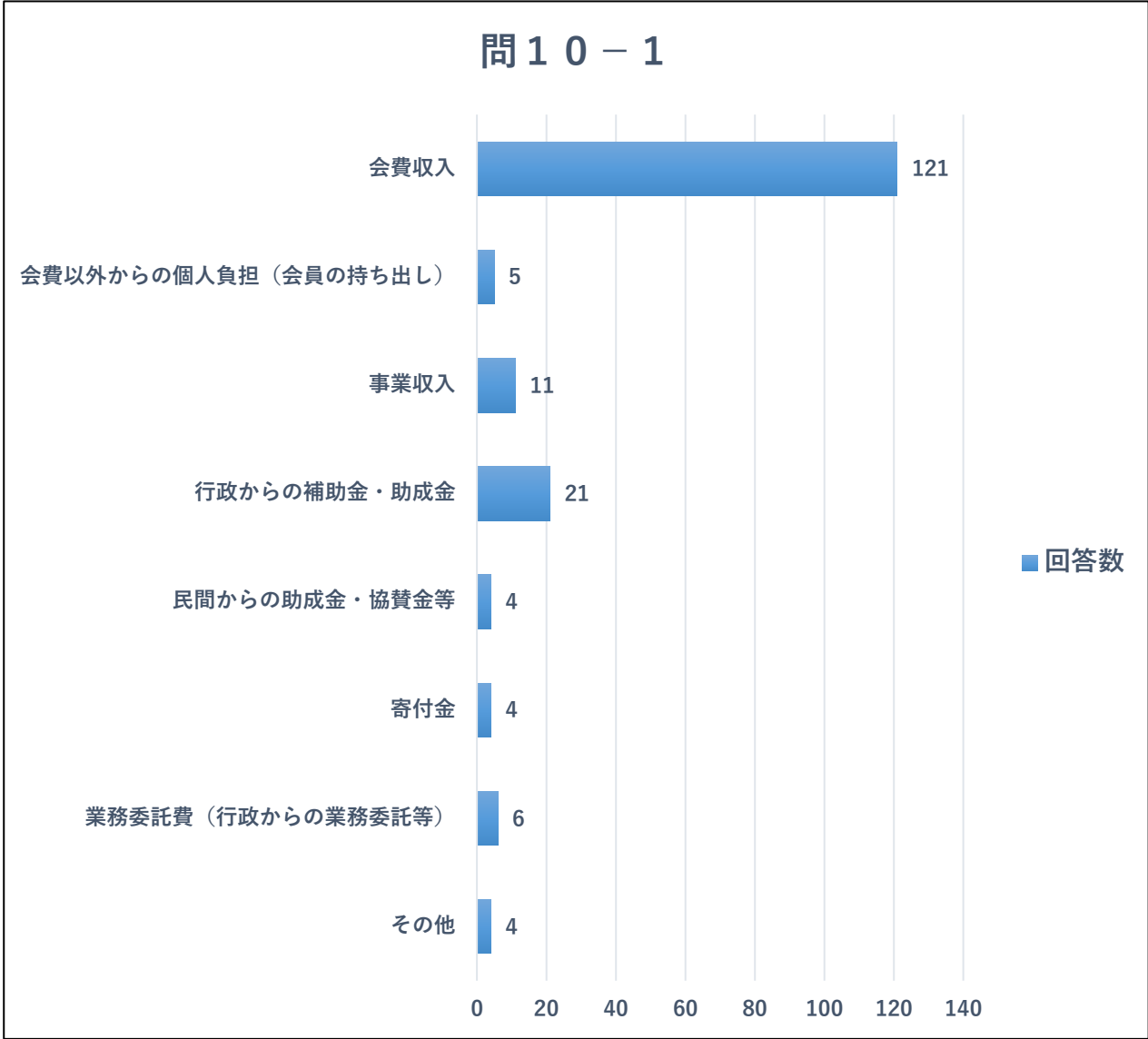
問9. 団体のおおよその年間支出額について。(一つだけ)

団体のおおよその年間支出額については、「10万円以上50万円未満」が30.1%と最も多く、「1万円以上5万円未満」が27.8%、「1万円未満」が16.5%と続いた。



問10-1. 団体の収入源について。(最も大きい収入源：一つだけ)

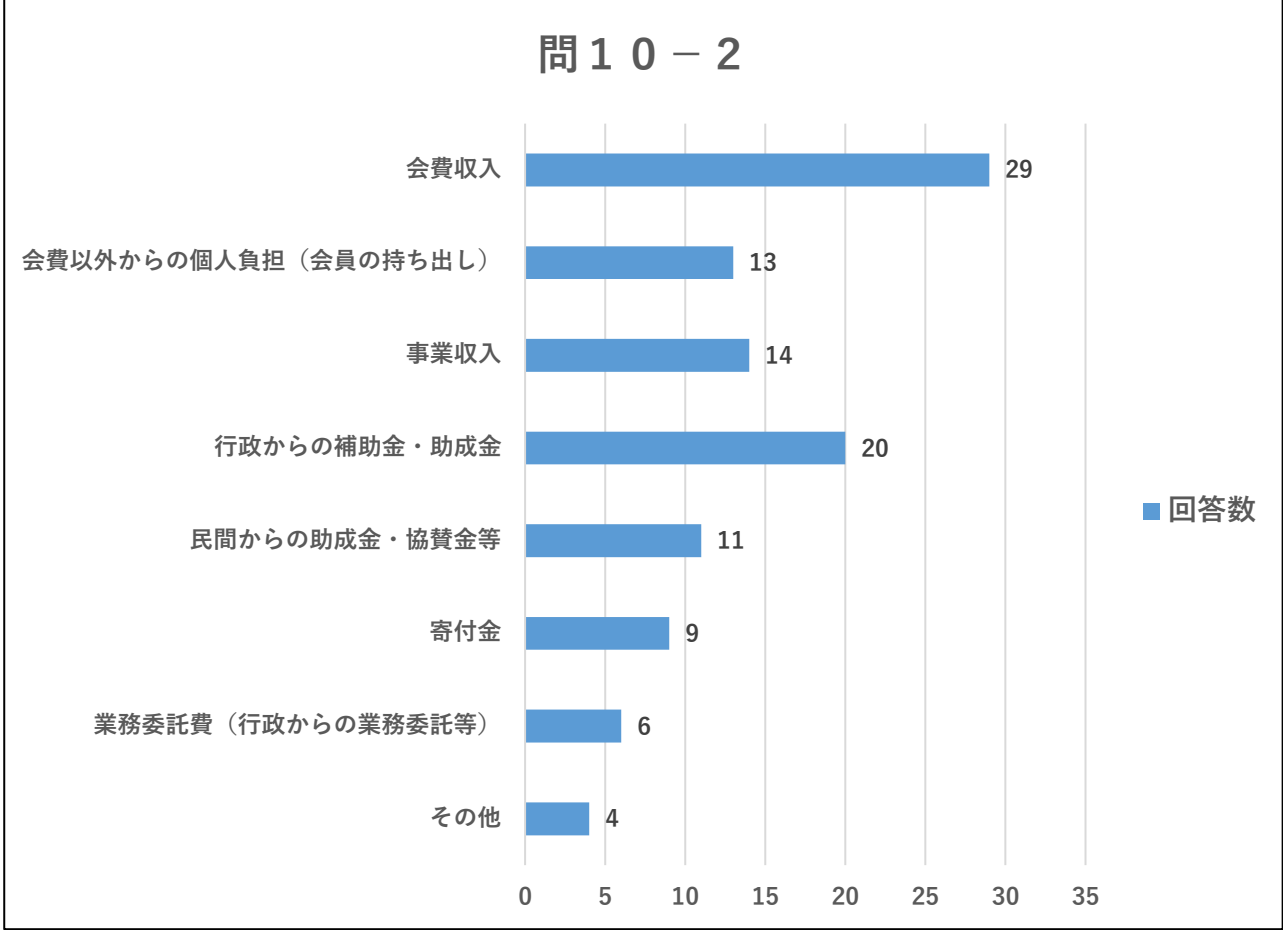
団体の最たる収入源は、「会費収入」が68.8%と最も多く、「行政からの補助金・助成金」が11.9%、「事業収入」が6.3%と続いた。



- その他
- ・なし

問10-2. 団体の収入源について。(他の当てはまる収入源：複数回答可)

団体の他の当てはまる収入源は、「会費収入」が16.5%と最も多く、「行政からの補助金・助成金」が11.4%、「事業収入」が8.0%と続いた。

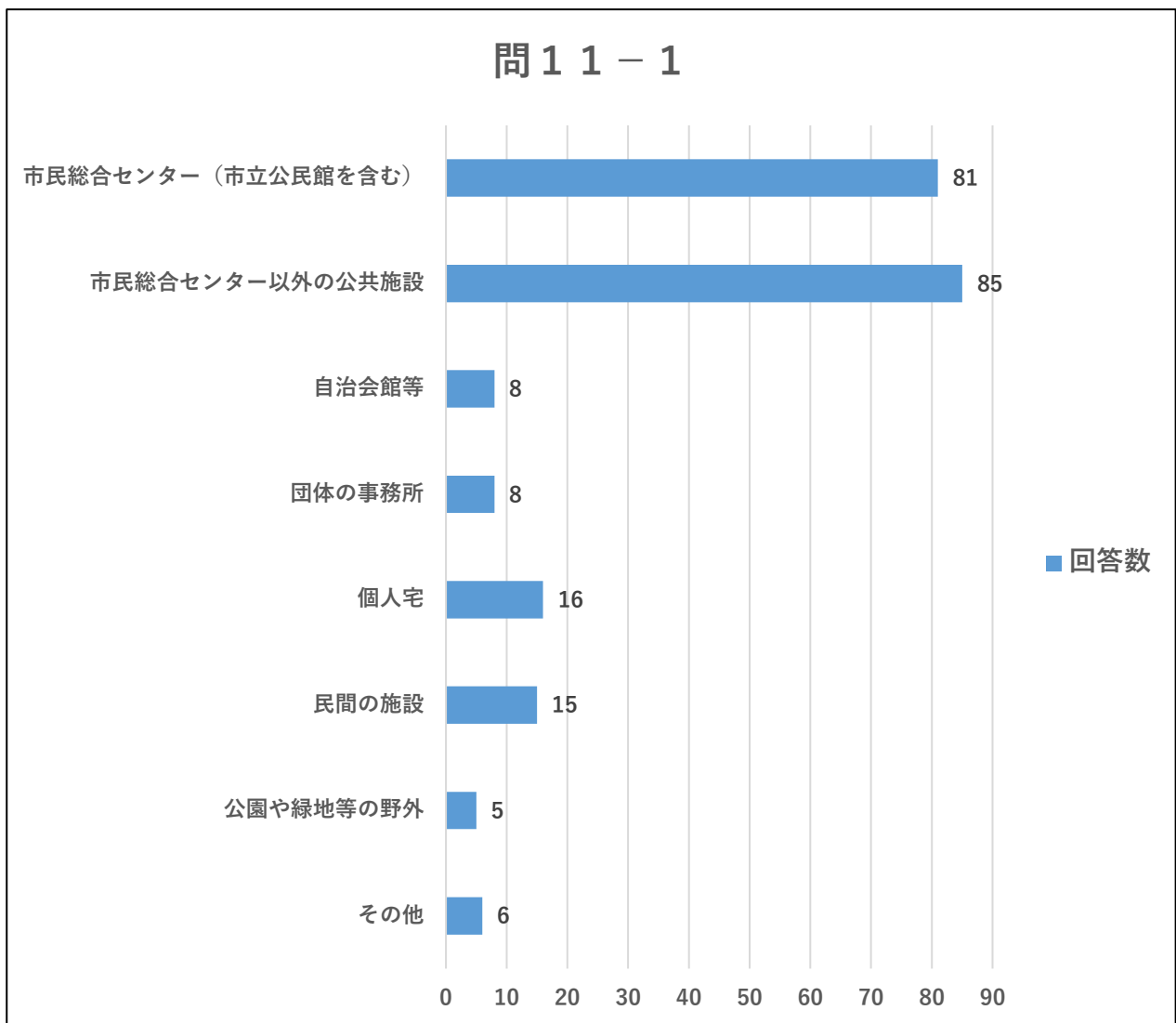


- その他
- ・なし

2 団体の活動場所について

問11-1. 団体の活動で主に利用している場所はどこですか。(準備や打合せの場所：3つ以内)

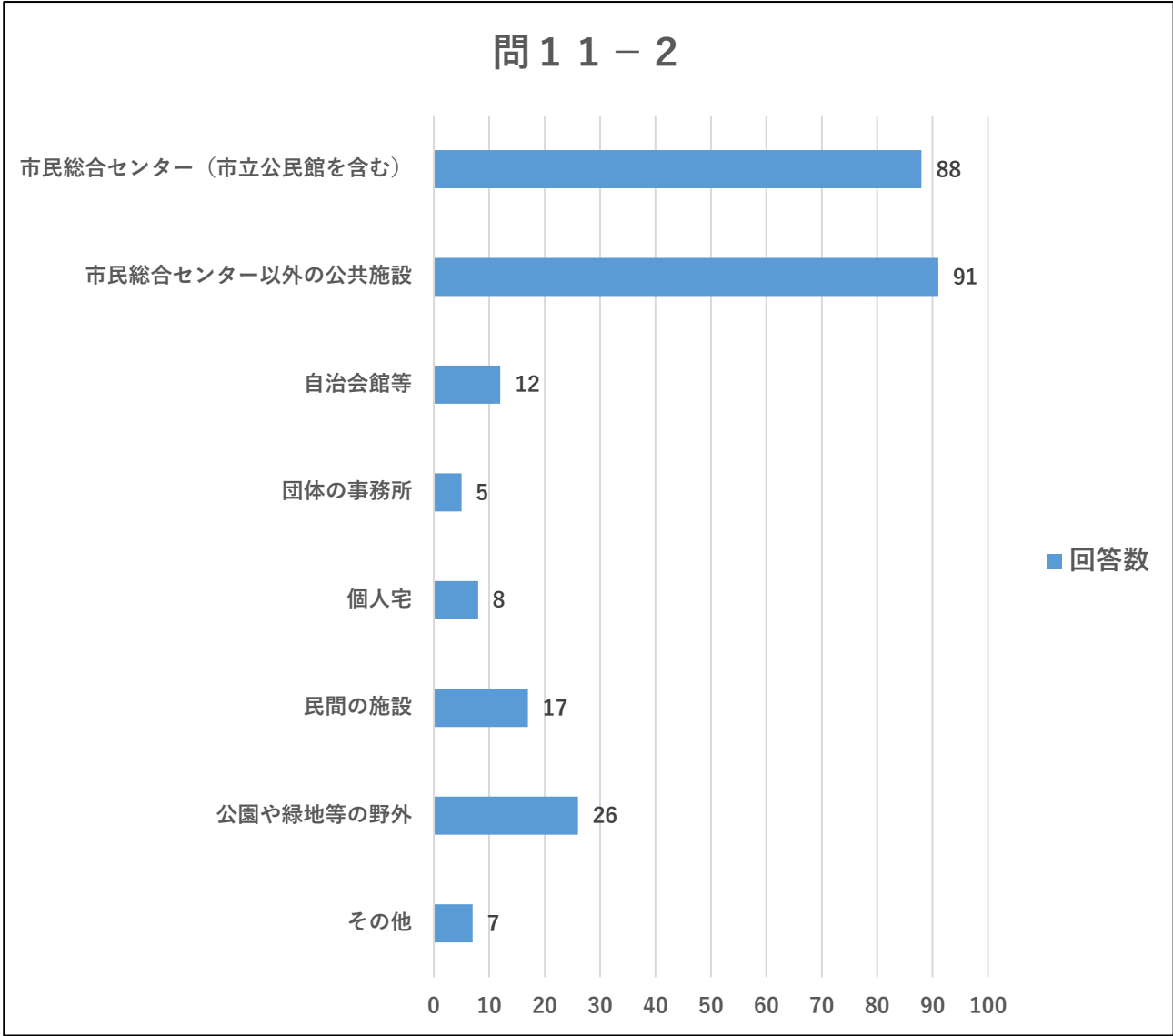
団体の活動で主に準備や打合せをするために利用している場所は、「市民総合センター以外の公共施設」が48.3%と最も多く、「市民総合センター（市立公民館を含む）」が46.0%、「個人宅」が9.1%と続いた。



- その他
- ・なし

問 1 1 - 2. 団体の活動で主に利用している場所はどこですか。(活動や事業を実施する場所：3つ以内)

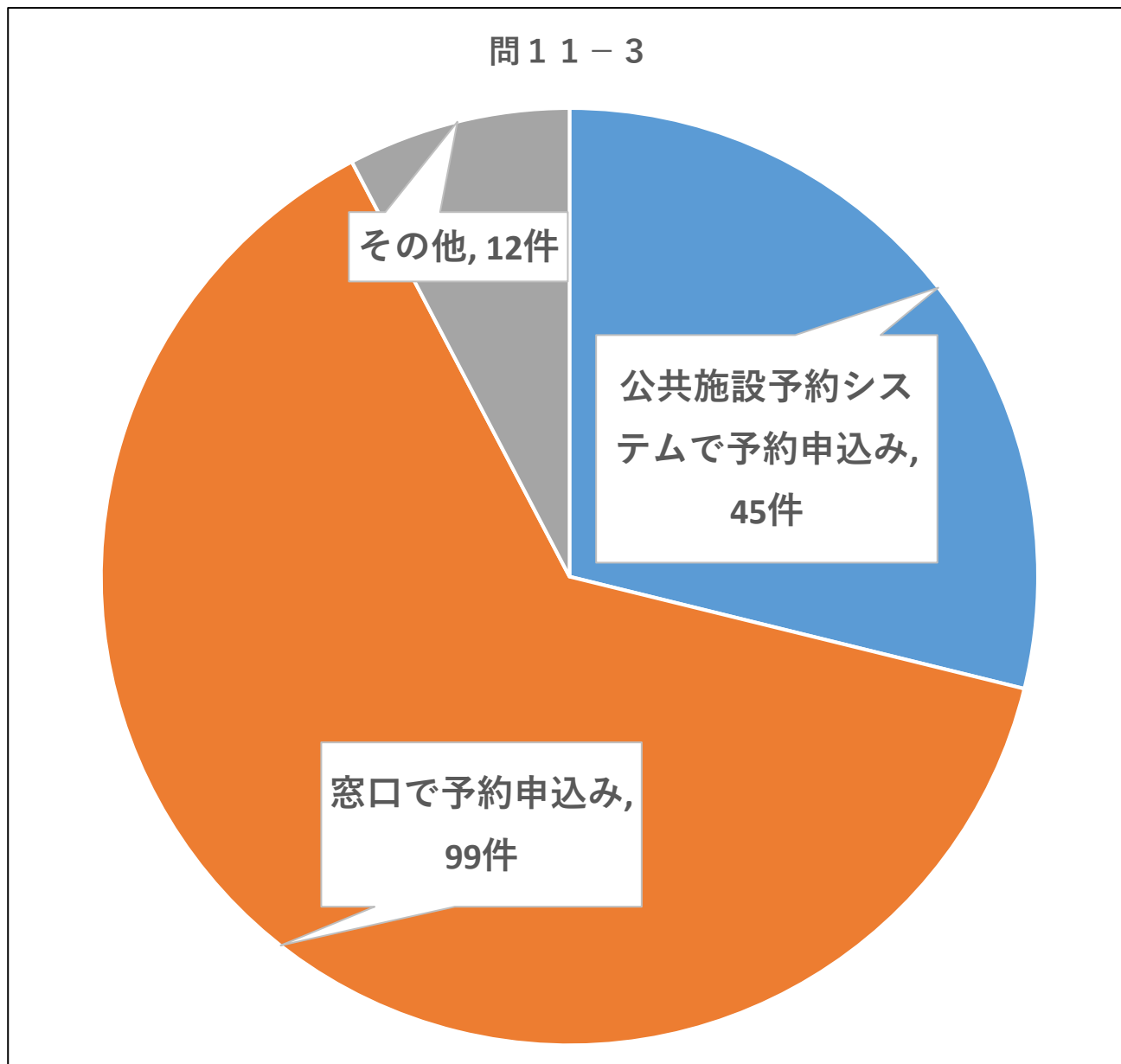
団体の活動で主に活動や事業を実施するために利用している場所は、「市民総合センター以外の公共施設」が51.7%と最も多く、「市民総合センター（市立公民館を含む）」が50.0%、「公園や緑地等の野外」が14.8%と続いた。



●その他
・なし

問11-3. 公共施設を利用する際の主な申し込み方法について。(一つだけ)

公共施設を利用する際の主な申し込み方法は、「窓口で予約申込み」が63.5%と最も多く、「公共施設予約システムで予約申込み」が28.8%と続いた。

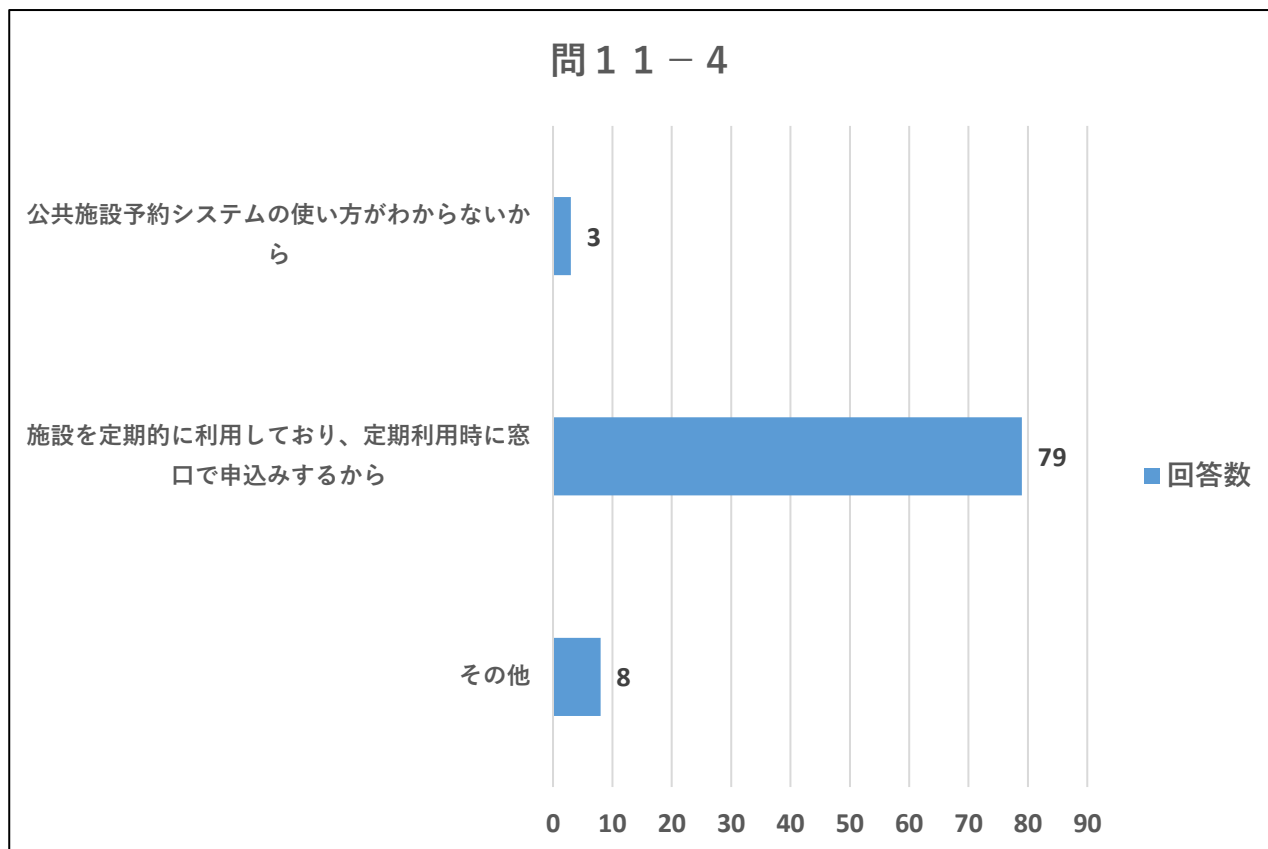


●その他

- ・施設管理会社、ラーニングコモンズさんとの提携のおかげ
- ・手話サークルが予約
- ・別事業の集まりに少し時間をもらうため
- ・あまり利用しない
- ・なし

問11-4. 公共施設の利用を予約する際、窓口で予約申込みを行っている主な理由について。(複数回答可)

公共施設の利用を予約する際、窓口で予約申込みを行っている主な理由は、「施設を定期的に利用しており、定期利用時に窓口で申込みするから」が88.8%と最も高かった。



●その他

- ・受付職員との交わり
- ・2ヶ月前に予約（令和6年度から定期予約にしてもらう予定）
- ・年1回のため直接申込
- ・使用する施設の予約方法が窓口対応のため
- ・行くほうが慣れている
- ・施設を定期的に利用しており4月～翌年3月の1年分を書面で申し込んでいる
- ・以前は使わせてもらっていましたが、公共施設を使う必要がなくなりました。

問 1 1 - 5. 公共施設の利用に係る予約申込手続きにおいて、改善してもらいたい内容等について。(自由記述)

- ・備品の貸出しでマイクの欄がないので口頭で伝えている
- ・コロナのために活動が一時低下したときは外出しなかったため、パソコンでの申込、利用状況などを調べていた。パソコンを変えたら利用システムが変更？やり方がわからなく忘れてしまった。又教えていただきたいです。
- ・展示会場での展示会が年一回なのを年2回希望します。
- ・申込をしなくてよい
- ・各公共機関で申込方法や申込用紙などが異なり違和感がある。
- ・事前使用許可使用料支払いについてもクレジットカード使用の可能性を追求して欲しい。
- ・毎年役員が交代するので(高齢になっている)予約システムで申込をするのは時間のムダで難しいので今のまま窓口で申し込むのが良い。
- ・別にありません。心よく応対して下さいます。
- ・自然災害に於ける予約キャンセルのあり方について。(午後から豪雨で全員に近い会員が欠席とのことでキャンセルした事がありました。グリーンホール自体は開館されていたので・・・)
- ・平日の夜間に利用しているので午後7時30分集合のため閉館時間を10時にして欲しい(土、日は子供達の指導で時間がとれない)。
- ・特にありませんが定期以外で予約する場合、太鼓使用の場合のみ制限があるので困ることがあります。音楽室に近い、会議室4、視聴覚室は使用している時は、音楽室の空きがあっても予約できないと言われていています(騒音のため)。限られた時間での練習ですので、もう少し緩和されることを願います。
- ・4ヶ月後の予約を取らなければはずれることあり。一週間ぬけると体が固くなるので必死です。でも休日や祝日でも借りられることがうれしいです。
- ・今のままで良い。
- ・インターネットで予約できるのはありがたい。少し見づらい、もっと見やすく選択、検索できたらいいと思いました。
- ・現状で良いです。
- ・舞台、ホールを予約したいとき、半年前の申込手続きなので出演者、ゲストの方をお願いする時期が遅くなる。1年前に出来ないもののでしょうか？
- ・△マークが午前午後どちらの空きかわからない。お金を払うついでもある。
- ・申し込みは2日前まで可能だが、キャンセルは7日前までなのでキャンセルも2日前までにしてほしい。キャンセル待ちという手続きもあればと思います。市民ホールの申し込みは6か月前からですが、その期間を1年前からにしてほしい。
- ・現在の手続きで良いと思います。
- ・毎週火曜日を活動日にしています。第1、第3火曜のみ自動予約をしていただき、第2、第4は2ヶ月前に予約しております。これをすべて自動予約にしていだけないでしょうか。行事と重なる際にはご連絡をいただき、別途予約をするようにいたします。
- ・新会員が増え、動きをとまなう運動のため、展示ホールの広さが必要です。アリーナの

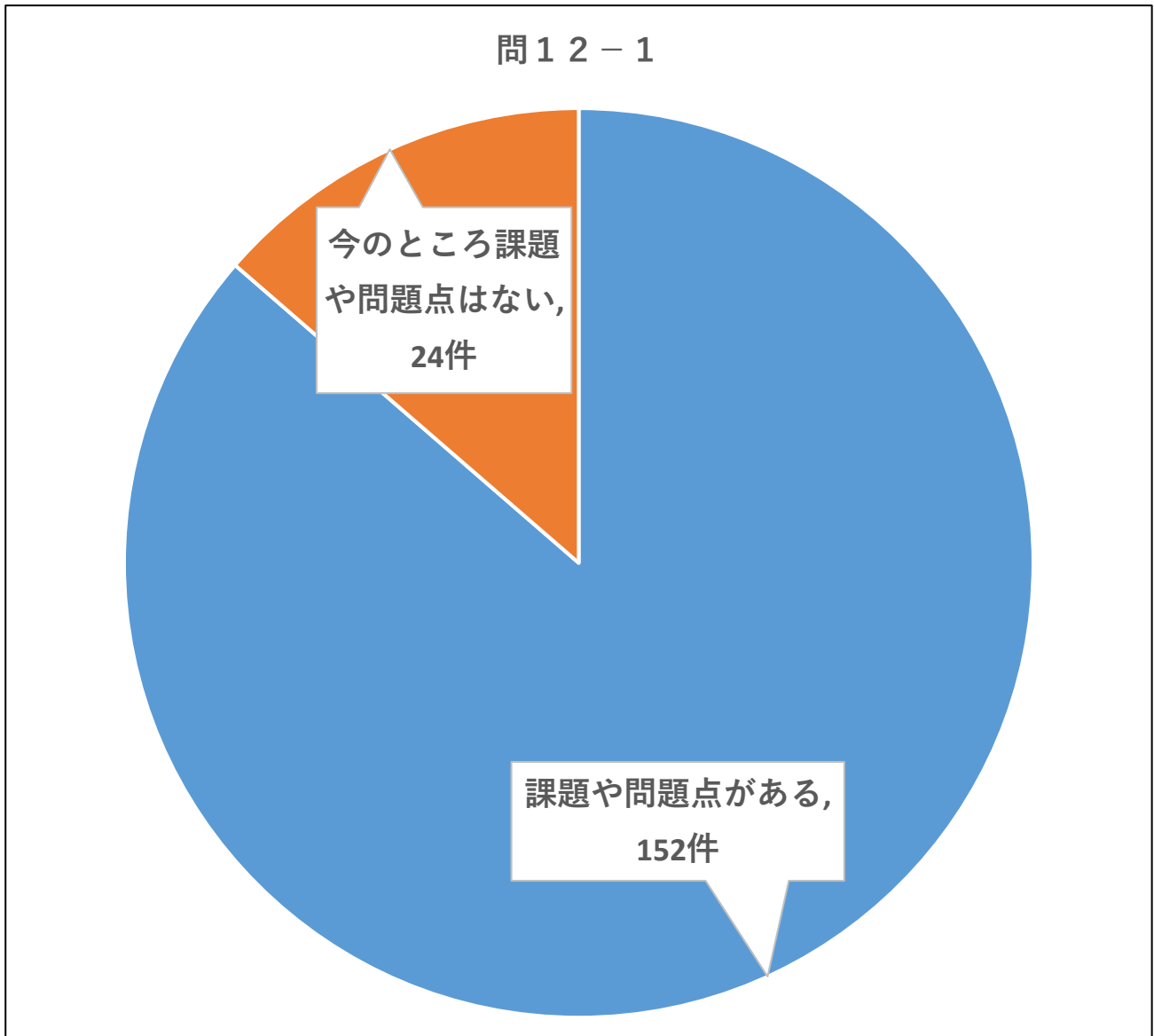
使用も検討しましたが、多目的室は常に予約が入り、メインアリーナでは音楽を使用するため気を使います。また、他のサークルや行事と重なっているかどうかがわからず夜0時に合わせ予約を入れる負担もあります。何卒ご検討ください。

- ・月初めの日曜日朝9：00からアリーナの使用抽選会をネット予約に変更して欲しい。
- ・予約が2ヶ月先となっているがカレンダーで1ヶ月先迄しか出来ないのも面倒です。1ヶ月先で出来るようにして欲しい。
- ・現状の空いている会議室でやむを得ない。
- ・グリーンホール田原における定期サークルの条件の少しハードルを下げてくださいたいです。会員の半数以上が四條畷市民（地域の特性上、実質田原地区在住）で構成されなければならないのは年々難しさを感じます。代表や役員は市民としても、一般の会員は近隣の市民が多くなった場合も許可いただけなければ、この先は会の活動を維持するのが難しくなると感じています。
- ・毎年同じ内容の申請用紙なので、変更がないならば「変更なし」の申請にしてほしい。ただし、会員人数やメンバー名が変わるので、名簿と会計報告は必要と思います。
- ・定期予約申込は、2カ月前も可能に今後してもらいたい。
- ・予約状況をもっと先まで見られるようにしてほしい。
- ・今のやり方で十分満足しています。（簡単で名前を署名するだけで便利です）
- ・今のやり方で十分満足しています。
- ・現状でいい、（小規模の団体・個人での活動場所について、あまり、知らせる方より、相互理解のもと、場所の決定は、望ましい方法ではない。）譲り合いの心の育成。
- ・まかせているので？
- ・よくやってもらっています。
- ・とても利用しやすく、好意的に対処していただいています。
- ・2カ月前まで予約はできるのはいいですが、カレンダーの表示がわかりづらい。
- ・年に一回位利用です。常連でないとのことで、備品の貸出しを断られた事がある。午前0時予約は面倒。
- ・利用料金は当日払いがいい。
- ・年間行事以外で市の優先で部屋が取れないのは残念です。
- ・施設利用料金を窓口に行かずにしてもらいたい。不定期でもいいので無料の開放日を設けてはいかがでしょうか？
- ・なし。

3 団体の課題等について

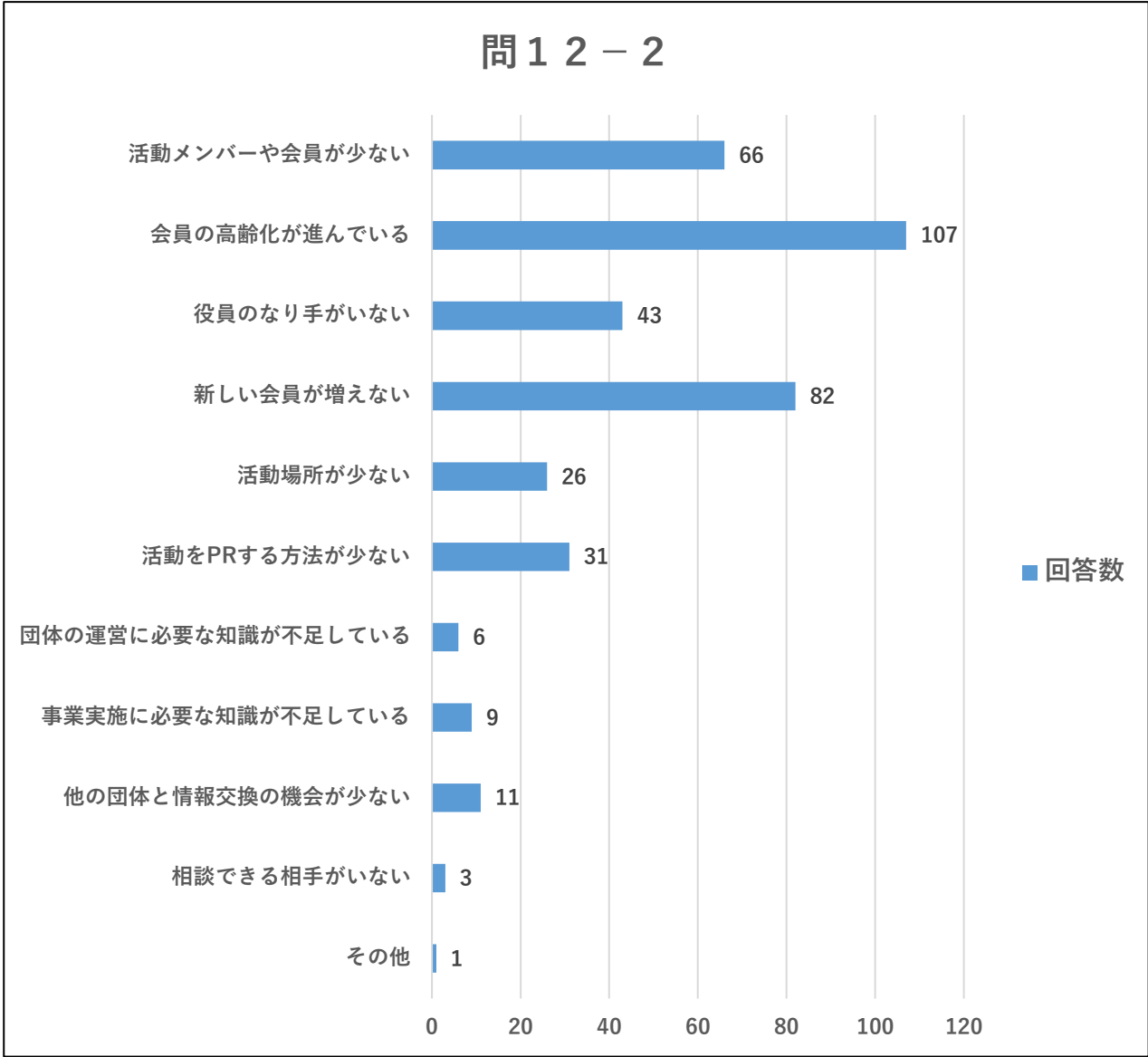
問12-1. 活動中での課題や問題点について。(一つだけ)

団体の活動中での課題や問題点については、「課題や問題点がある」が86.4%、「今のところ課題や問題点はない」が13.6%であった。



問12-2. 課題がある場合、その課題や問題点について。(複数回答可)

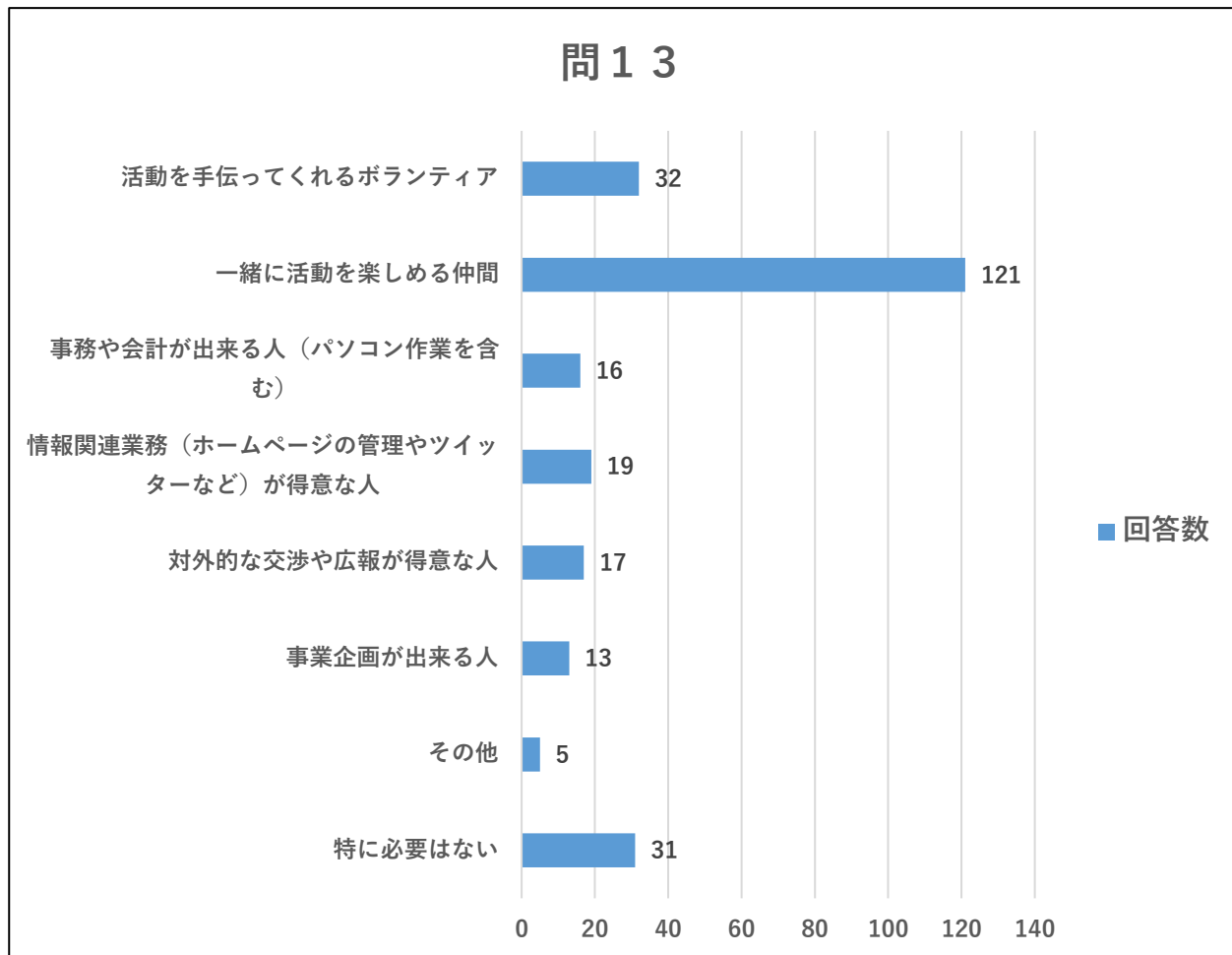
課題がある場合、その課題や問題点については、「会員の高齢化が進んでいる」が70.4%と最も多く、「新しい会員が増えない」が53.9%、「活動メンバーや会員が少ない」が43.4%と続いた。



●その他
・なし

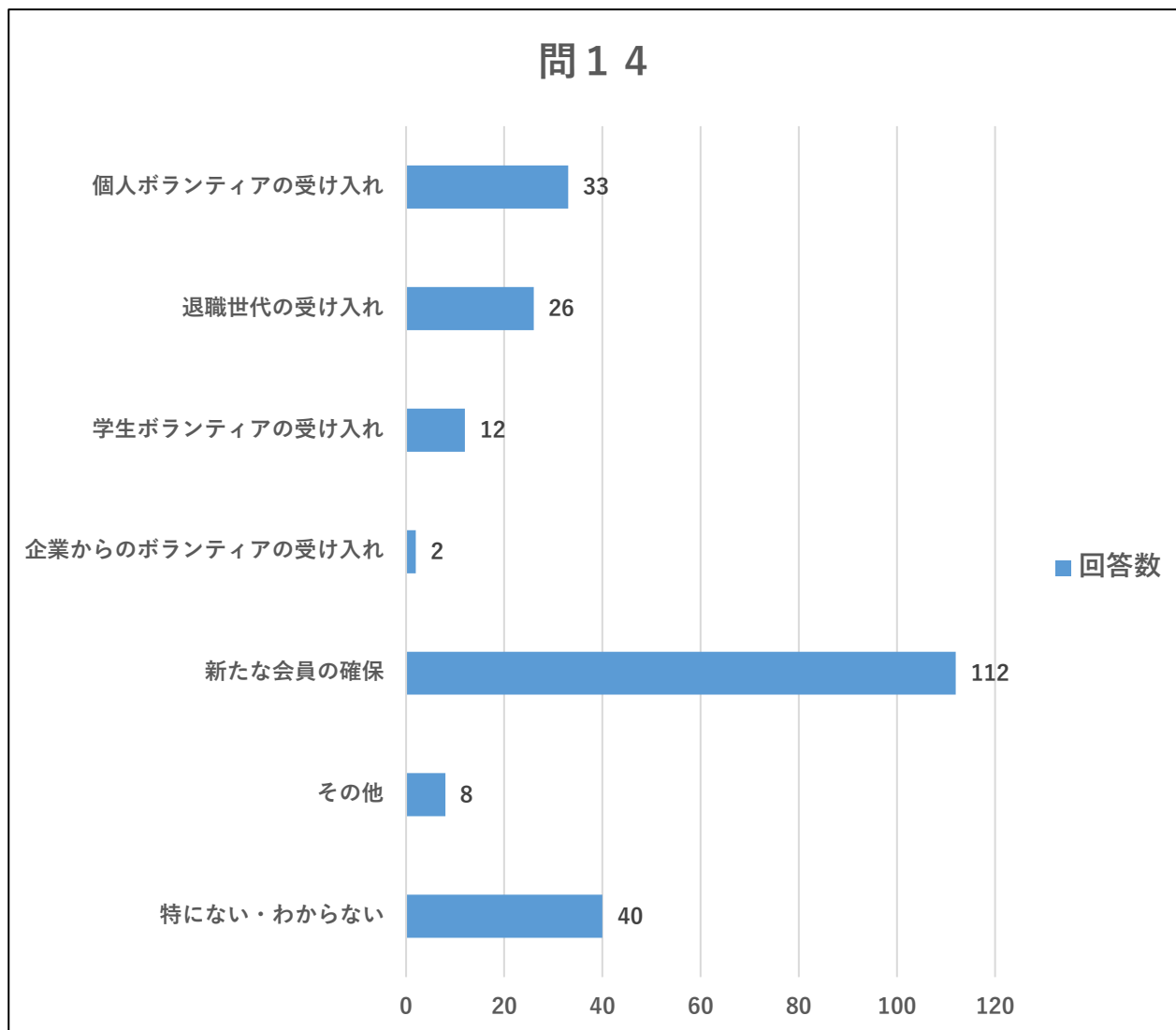
問13. あなたの団体が必要としているのはどのような人ですか。(複数回答可)

団体が必要としている人材は、「一緒に活動を楽しめる仲間」が68.8%と最も多く、「活動を手伝ってくれるボランティア」が18.2%、「特に必要はない」が17.6%と続いた。



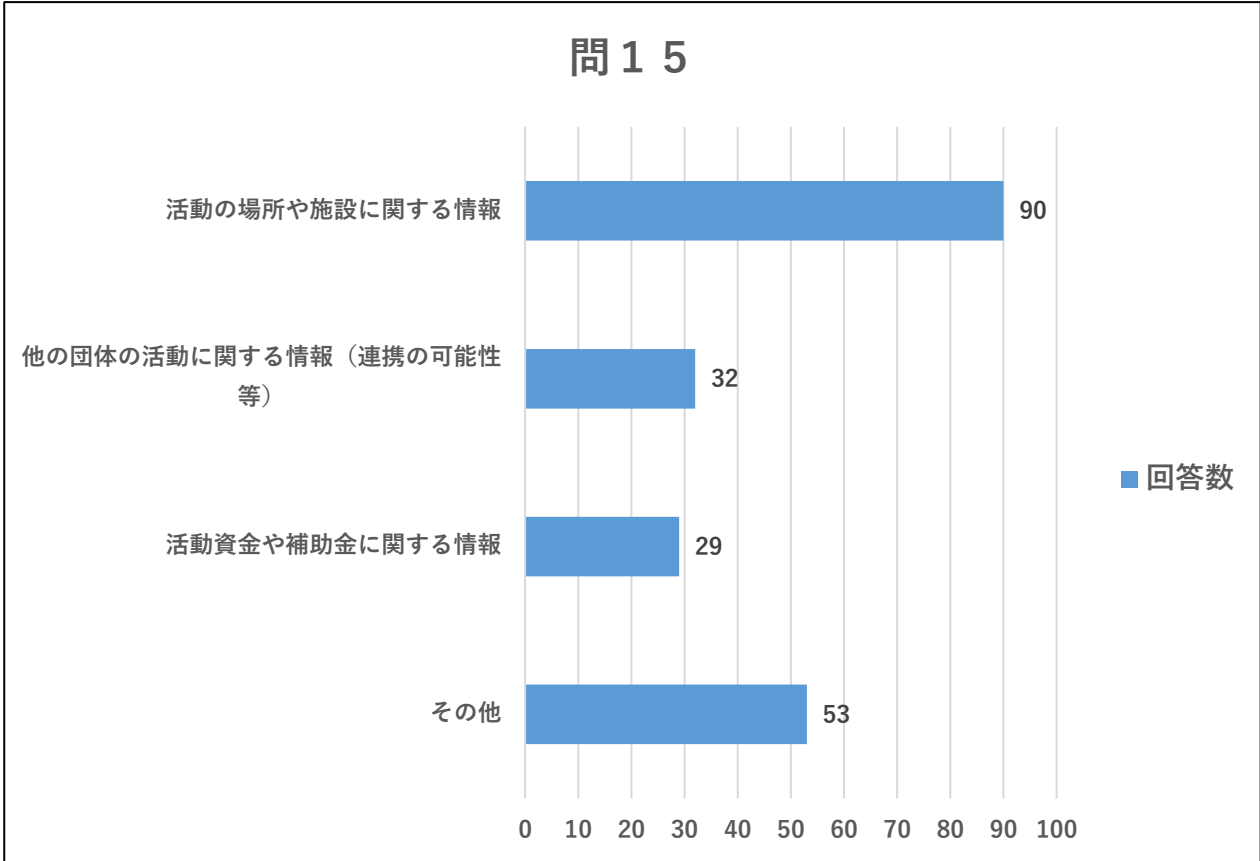
問14. 人材確保のために取り組みたいことについて。(複数回答可)

人材確保のために取り組みたいことについては、「新たな会員の確保」が63.6%と最も多く、「特にない・わからない」が22.7%、「個人ボランティアの受け入れ」が18.8%と続いた。



問15. 団体の活動に必要な情報について。(複数回答可)

団体の活動に必要な情報については、「活動の場所や施設に関する情報」が51.1%と最も多く、「他の団体の活動に関する情報（連携の可能性等）」が18.2%、「活動資金や補助金に関する情報」が16.5%と続いた。

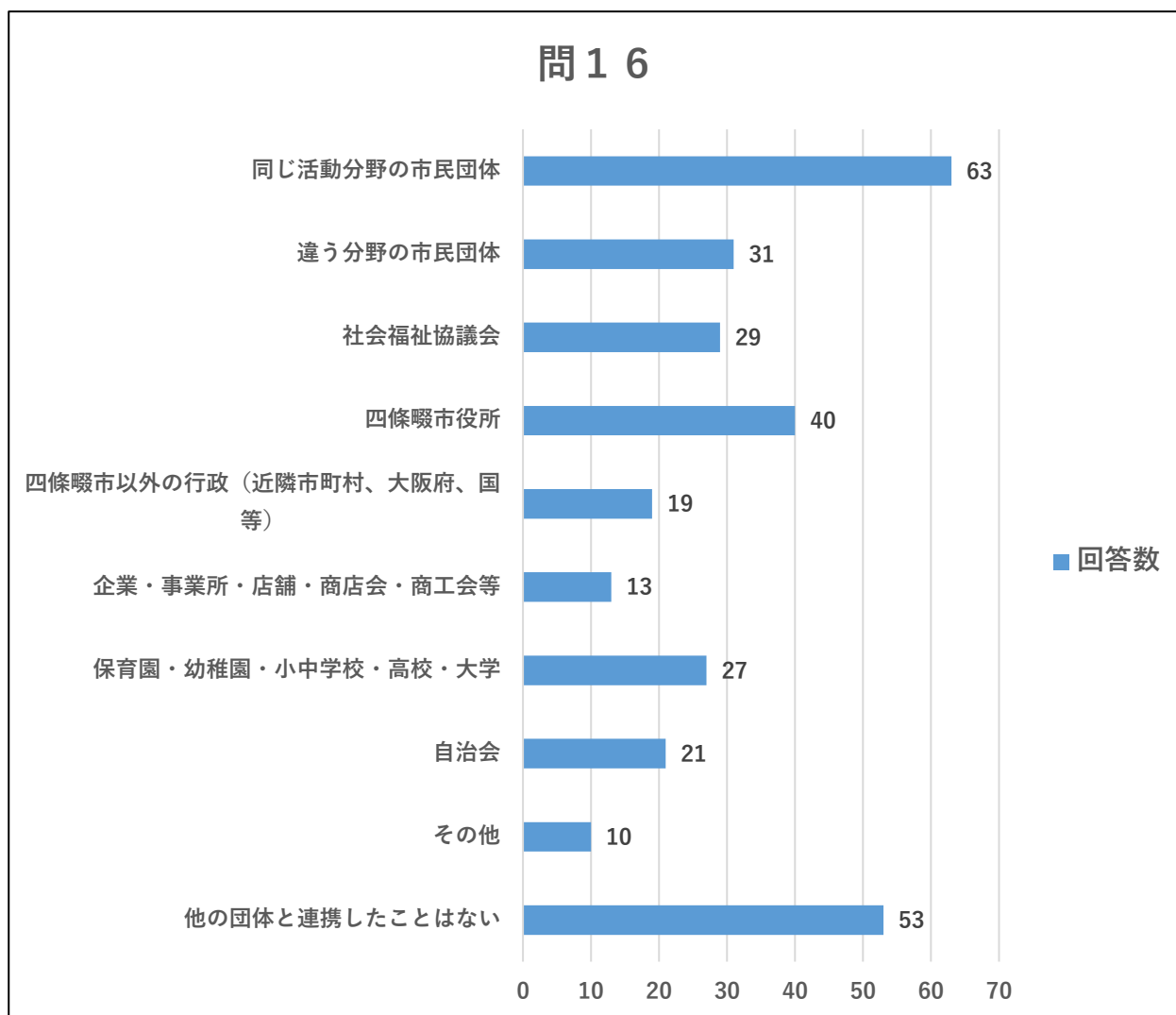


- その他
- ・なし

4 団体間の連携・ネットワークについて

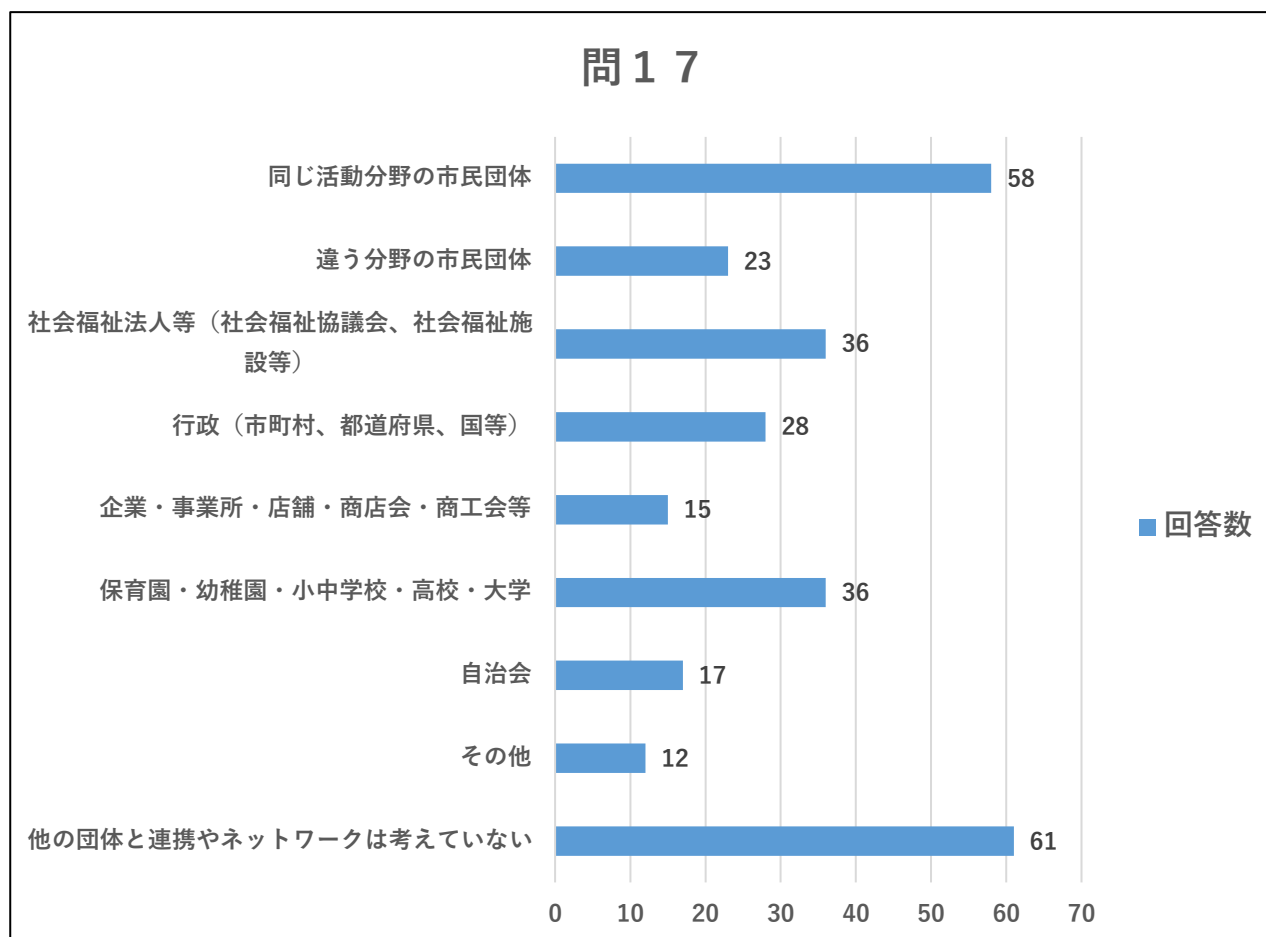
問16. 他の団体と連携して活動を行ったことについて。(複数回答可)

他の団体と連携して活動を行ったことについては、「同じ活動分野の市民団体」が35.8%と最も多く、「他の団体と連携したことはない」が30.1%、「四條畷市役所」が22.7%と続いた。



問17. 今後どのような団体と連携・ネットワークをお考えですか。(複数回答可)

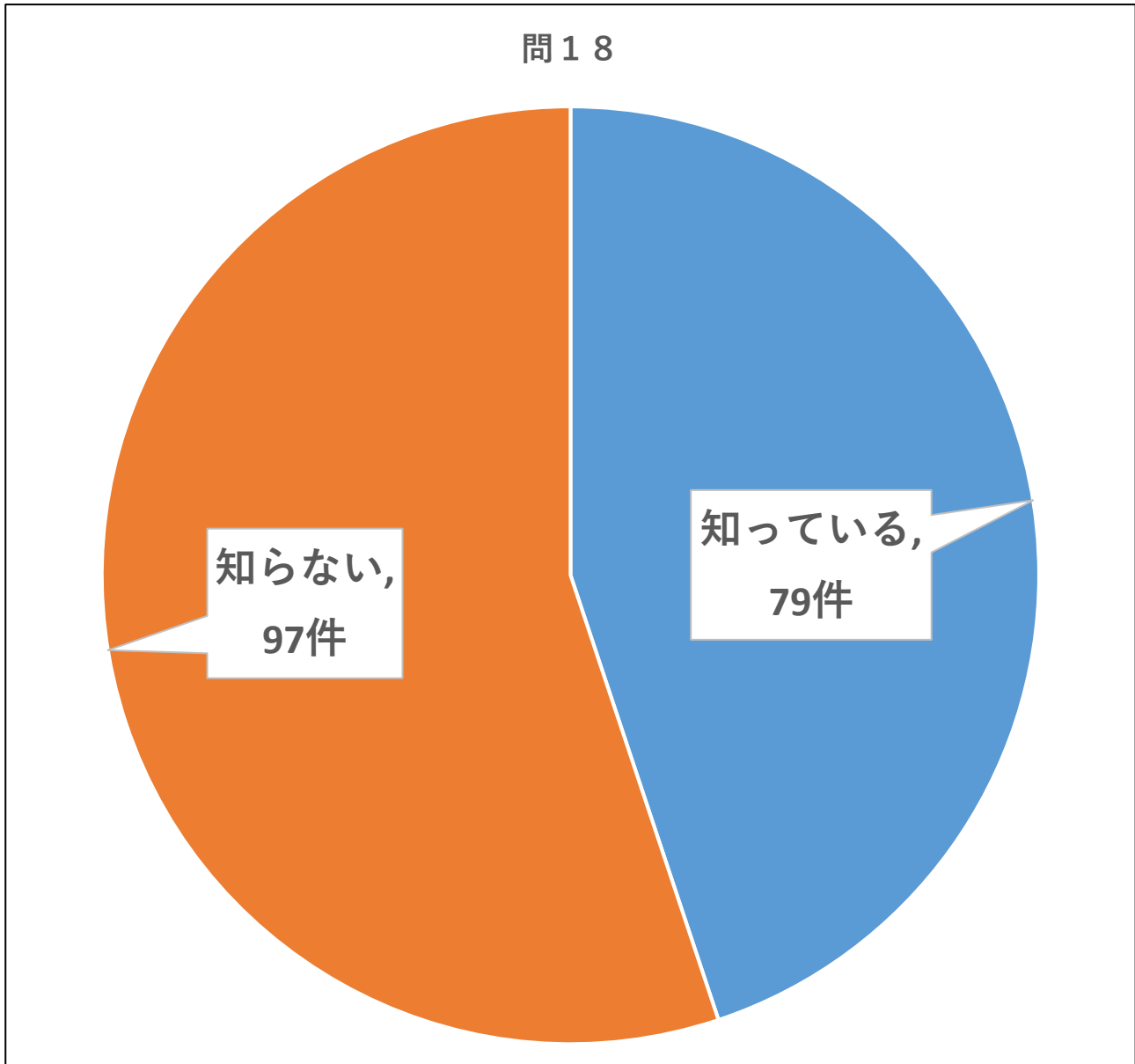
今後どのような団体と連携・ネットワークを検討されているかについては、「他の団体と連携やネットワークは考えていない」が34.7%と最も多く、「同じ活動分野の市民団体」が33.0%、「社会福祉法人等（社会福祉協議会、社会福祉施設等）」「保育園・幼稚園・小中学校・高校・大学」が20.5%と続いた。



5 公募型補助金について

問18. この制度について知っていますか。また知っている場合、ご意見がございましたらご記入ください。(一つだけ)

公募型補助金制度については、「知っている」が44.9%、「知らない」が55.1%であった。



●知っていると回答された方の意見

- ・ハードルが高いような
- ・パソコン、タブレット、スマホ等を使用していますが、PC基本使用料、光電話基本料5,700円、ネットトータルサポート料、デジタル機器補償サービス料他2,815円計

8, 515円（10月分）請求となり、毎月20,000円位の通信費を1台のパソコンを持つだけで支払っています。経費の一部を支援されるならパソコン、電話基本使用料の経費を支援されてはと思います。

- ①補助金を受け取るまでの過程が複雑すぎる。②決定が遅い。③文化活動のために使用された感じを受ける。
- 必要ないと思っています。他に使って下さい。
- 長い間取り組んで来た活動に対する支援は改革を加えながらも継続していただきたい。公募型支援も大切だと思いますが一過性でなく活動の広がりがあるものを期待し、広報もしていただきたい。
- 各地区自治会の自治会長、副会長が毎年交代になるため、補助金申請までの課題理解と解決方法についての発想まで至らない状況にあります。今年度より事務局体制を取ることとなったため、継続して取り組むなかで考えていきたいと思っています。
- 1年目100%、2年目70%、3年目50%で4年目に新たに申請する必要がある。4年目に補助金なしで独り立ちできるか？
- 四條畷市は他の地区に比べて福祉の面では一歩進んでいると昔から思っています。地区的に小さくまとまっているので自転車で15分～20分で行ける施設が多いのでよく総合センターなど利用させてもらって楽しい人生をおくらせてもらいました。住みよい町だと思っています。コロナで動きが止まってしまい歩けない人が増えたことは残念ですが時代の流れが変わってきたことが悲しいです。
- 予算委員会にて市議会議員さんから公募金の不平等性を追求されていました。この点を市民に納得いく説明を願います。
- この補助金の制度が畷市の色々な課題をクリアして戴ける事を期待しています。
- この制度にそぐわない団体もある。
- 公募型の補助金を使う予定はありませんが、市民に任せて活動をしていくには、市役所の皆さんの力が必要かと思っています。自分達で活動していくには、限界があります。皆の考えを纏めてくださるのが、市の方の力だと思います。市民はアイデアをたくさん持っています。強制的に動かそうとせず、逆に突き放さず、上手く連携していけることをお考えになっては如何かなと思います。
- 今までの育成のため、団体維持のための最低の補助をやめて、公募型にしたのは、失敗である。このため、殺伐とした、雰囲気が生じた。
- 以前の田原祭りがこの制度に代わり、発表の場が無くなったことが残念。
- 活動に必要と思われる支援によって、活動する側も創意工夫しながら力量を試せることは良いことだと思います。
- 障がい者など物理的な壁がある当事者にとっても、活用しやすい制度に改善を。
- 私共の活動は事業と思っていないので、この制度には馴染まないのでは利用できない。
- 新しい事業を見て募集するのも良いですが、折角築いた企画を壊してしまう理由がわからない。公民館フェスティバル、市民の集いまた、その理由が職員さんの負担を減らし、人件費を減らす目的の様だが、新しい企画を募集し、立て直し、そこに裂く労力の莫大な時間は、無駄に思える。築いたものを壊さず少しずつ改善しながら進めていけるよう、廃止が決まった企画を壊す前に市民が活動しやすい方向に舵を切れるように、そ

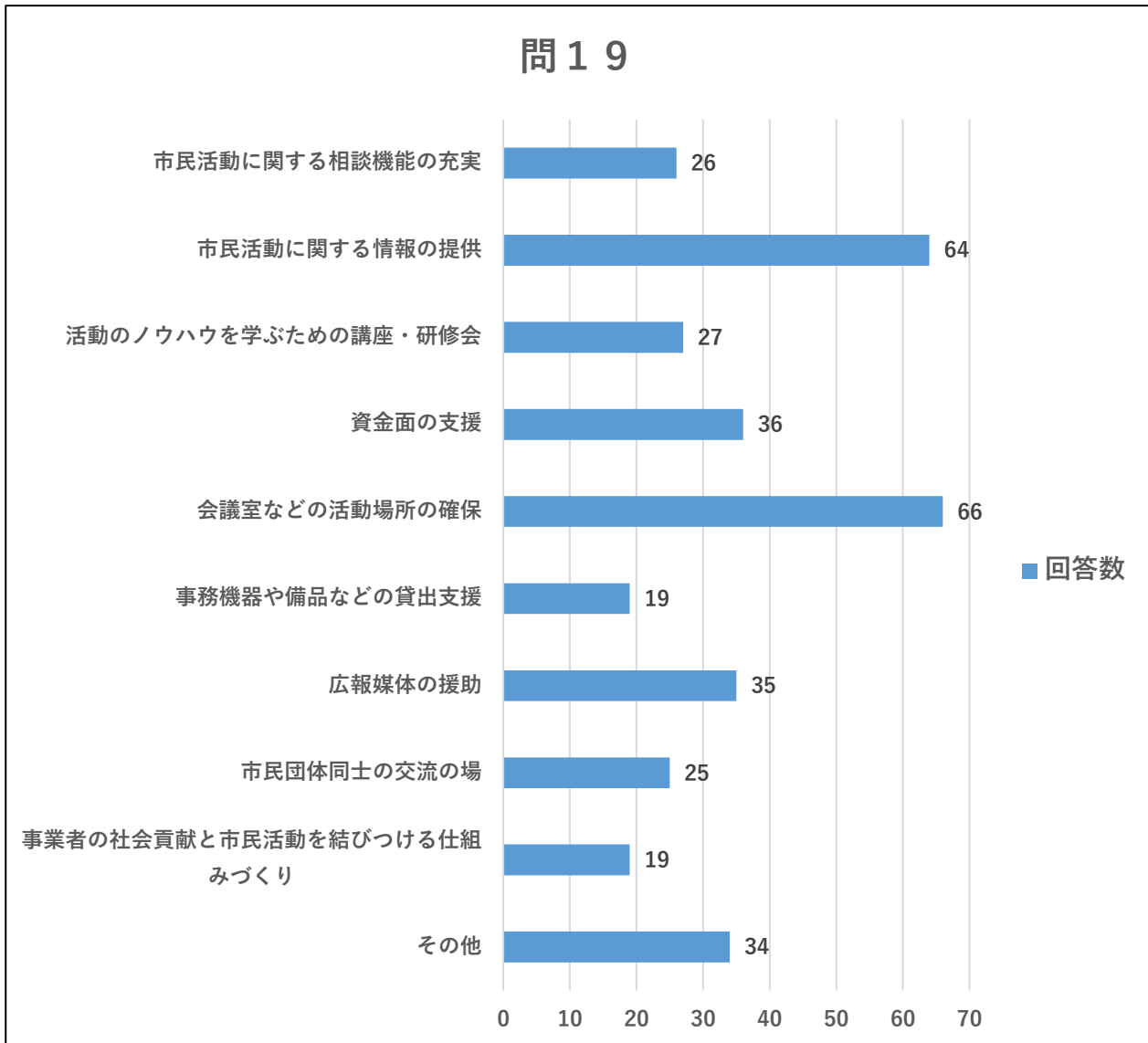
う言うところに職員さんの力か(時間)を使っていくべき。

- 個人情報の壁か、行政から障がい者の紹介がほしい。
- なし

6 団体の活動の継続・発展について

問19. 団体の活動を継続・発展に必要なことについて。(複数回答可)

団体の活動を継続・発展に必要なことについては、「会議室などの活動場所の確保」が37.5%と最も多く、「市民活動に関する情報の提供」が36.4%、「資金面の支援」が20.5%と続いた。

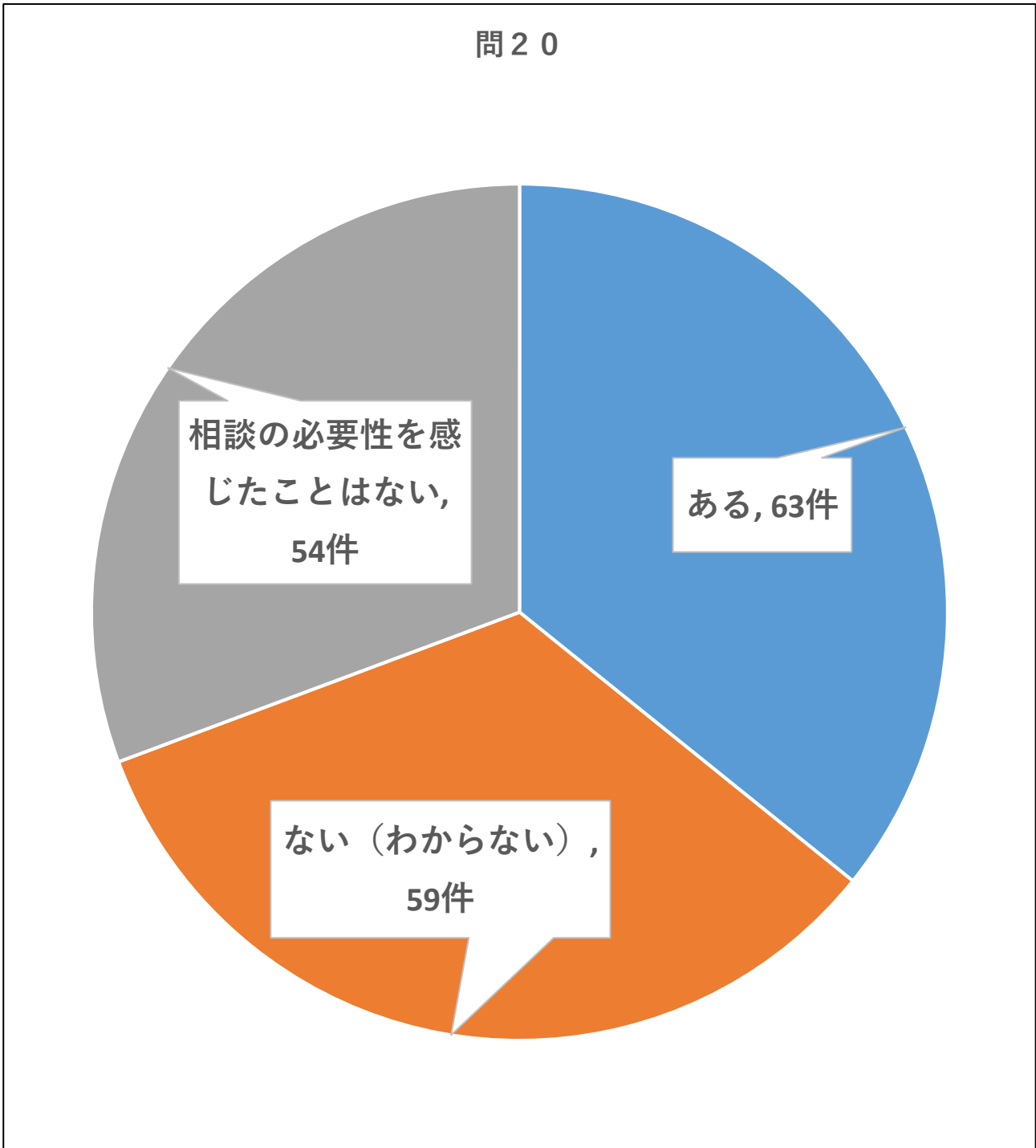


●その他

- ・会員を増やすこと
- ・なし

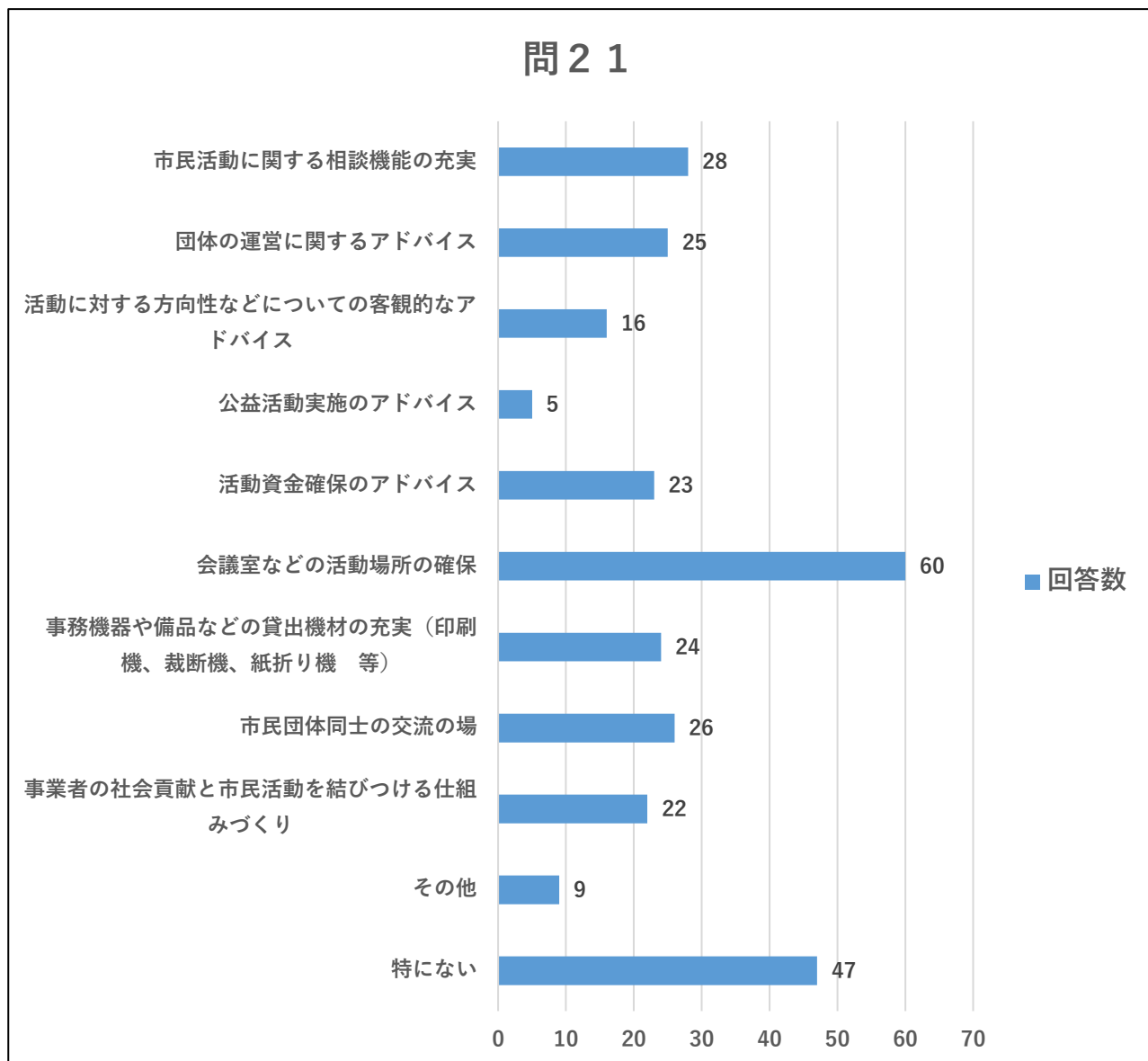
問20. 団体の組織運営や事業実施について、困ったときに相談しに行くところがありますか（市内外は問わない）。（一つだけ）

団体の組織運営や事業実施について、困ったときに相談しに行くところについては、「ある」が35.8%、「ない（わからない）」が33.5%、「相談の必要性を感じたことはない」が30.7%であった。



問 2 1 . 団体の活動する上での市の支援に期待するものについて。(3つ以内)

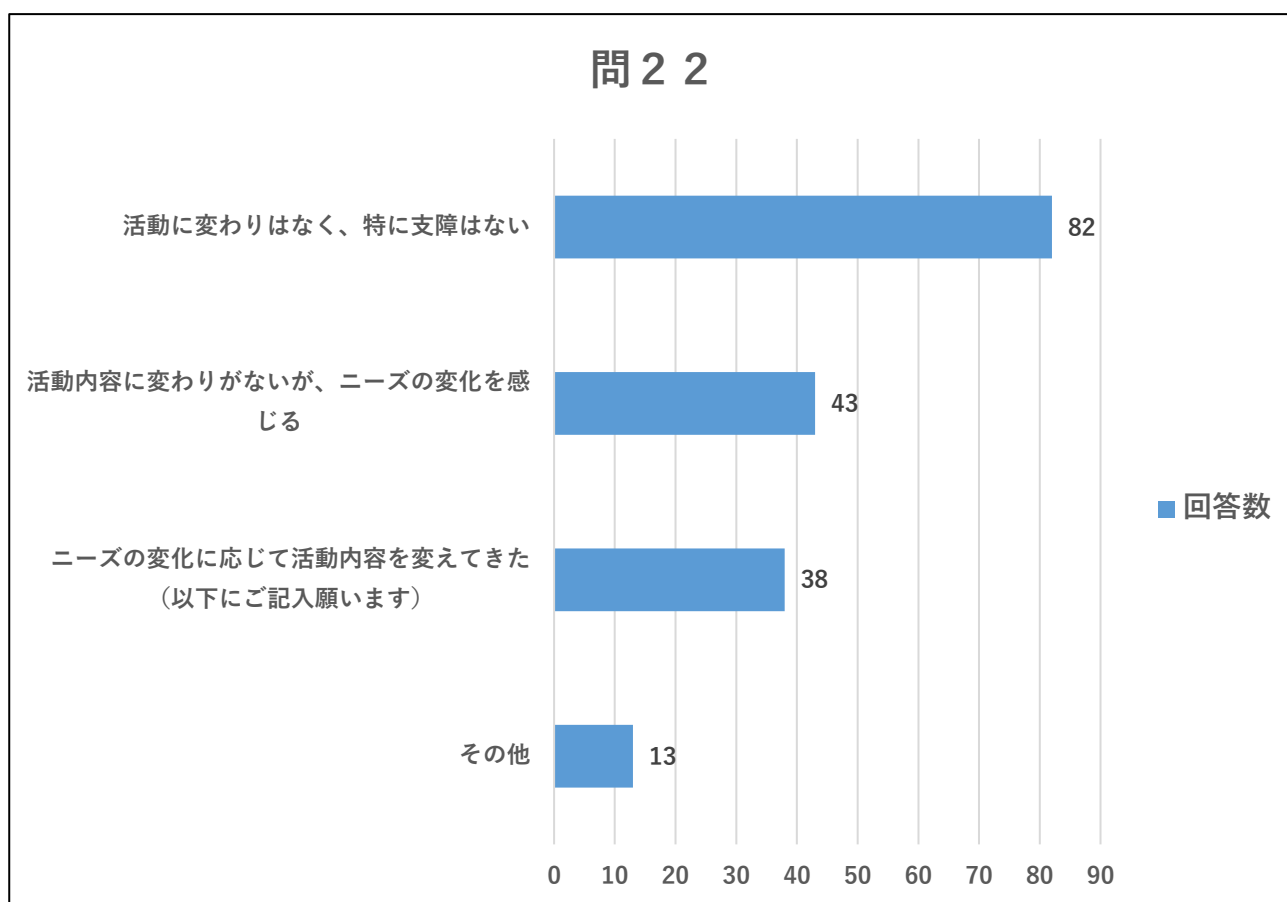
団体の活動する上での市の支援に期待するものについては、「会議室などの活動場所の確保」が34.1%と最も多く、「特にない」が26.7%、「市民活動に関する相談機能の充実」がそれぞれ15.9%と続いた。



7 団体や活動の変化について

問22. あなたの団体の活動は、発足当時と現在とを比べて変わっていますか。(一つだけ)

団体の活動において発足当時と現在との変化については、「活動に変わりはなく、特に支障はない」が46.6%と最も多く、「活動内容に変わりがないが、ニーズの変化を感じる」が24.4%、「ニーズの変化に応じて活動内容を変えてきた」が21.6%と続いた。



●ニーズの変化に応じて活動内容を変えてきた内容

- ・参加者拡大への対応
- ・会員の移動に伴い会員のニーズにあわせる為内容が変化、しかし本来の目的は失っていない
- ・自助具の市販されている物など多くなった
- ・避難所のあり方を検討
- ・感染症対策として換気、体温測定、マスク着用、手指消毒等を行い、人数制限をもうける等の配慮と共に実施
- ・参加団体の減少にともなう活動の縮小と、活動の縮小による会員離れを抑止するための活動内容の精査。球技専用会場での大会を増やす。他地域団体との交流戦を実施するな

ど。

- 発足当時は童謡、唱歌、愛唱歌が占めていたが、最近では歌謡曲、フォーク、ニューミュージック等も歌っている。
- 人数変更のため、音楽室から和室に変わる
- 会員数が減っている。その為、年2回位のボランティア活動はまとまりが良く行きがい（老人施設、老人会）
- 企業の定年延長や年金受給の引き上げなどで会員の年齢がどんどん上がっていったのでできる範囲の活動に変ってきている。
- 講師事情により月1回目：指導&練習、月2回目：復習&フリー曲歌唱
- ガイド資料の充実、ガイドコースの変更
- 高齢化に伴い技術の向上から健康と運動にシフトして来た
- ニーズの変化ではなく会員の減少（死亡、高齢、新規、会員不足）により活動が減少してきている。
- 保護者の活動の負担を少なくしている。
- 時代に合して必要と思うことを取り入れてきた
- 今は保護者が忙しく、父母共に働いている家庭が多くなっている。昔のように、保護者の手を借りてやる活動は敬遠され、子どもたちを預ければ出来る方向が良さそうです。保護者会は、廃止しました。
- コロナにより演奏活動ができないときもあり、活動を休みにしたり、野外での演奏発表などをした。
- 会員が高齢化してきている。
- 高齢化
- 発足当初に掲げた、体力の維持が高齢化とともに後退した。「楽しく参加」が他のイベントが増えた
- 地域で暮らすための課題解決のため、学びの中味を、「学び⇒気付き」となるように講師の選定を含め変えてきた。
- 競技技術、参加人数、年齢構成に応じて、現状に合うように、変えた。
- 子供用品交換会では、サイズの大きい服の需要が高く、今年春には、中学校に提供依頼したところ、快く応じていただき支給いただくことが出来ました。9月グリーンホール田原での交換会を行いました。
- 発足当時は、子育て支援を活動趣旨としておりましたが、今では年齢に関係なく、全ての人達の交流を目指し、社会貢献が出来ればどこへでも！と思って活動し、会員相互の支えあいも重視しています。ただし、発足時の「子ども達の感性豊かな成長を願って活動する」という趣旨は変わらず掲げています。
- 啓発から、相談支援・エンパワメントへ
- コロナ禍における「交流」の工夫。基盤強化、資金・人材確保のために、法人化し、公的資金を確保した。
- 当サロンは、未就園児とその親が対象のサロンです。当初は、2、3歳児も多く手遊びや製作など内容も充実しておりハサミの持ち方や色塗りなどお家で出来ない遊びも実施していました。ですがここ数年は、お母さんが早く職場復帰をされ、保育所に預けられ

る事が増えているようで3歳児の参加が減少傾向。その為、対象年齢が2歳未満になり子供と一緒に製作するには、低年齢化となり簡単な事ばかりになってきているので開催にあたっては、どのような内容にするかを考えるのが少々難しくなっています。

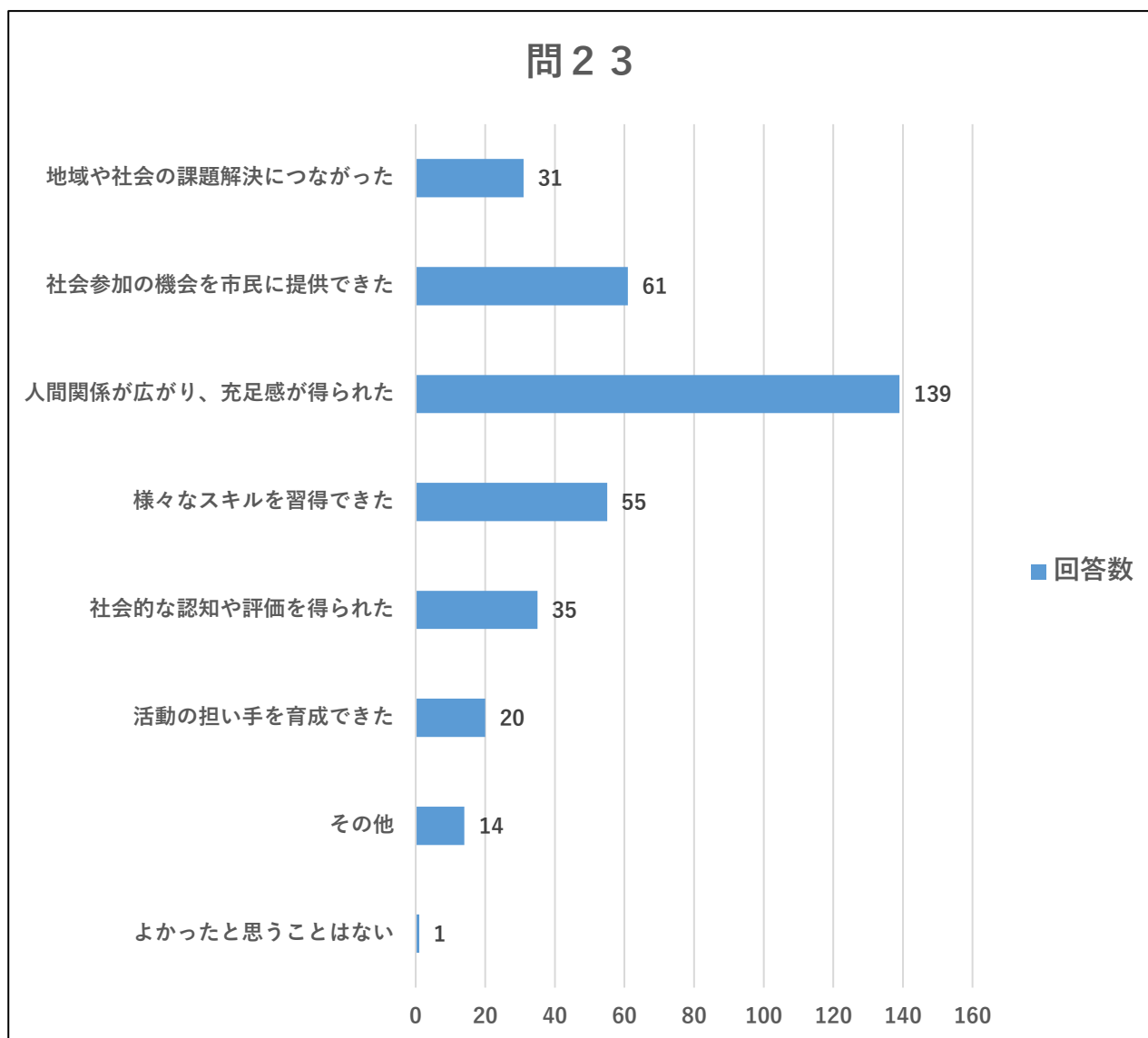
- ・当初は高齢者施設等支援と音訳活動を並行して行なっていたが、現在は音訳活動がメインとなっている。
- ・物価や相場も上がってきており、少子化であるが、内容のあるものを求めるママも多い。一回の受付人数を制限したり、金額の見直しも出来る範囲で工夫した。
- ・なし

●その他

- ・なし

問23. 団体の活動を続けてきて、よかったと思うことは何ですか。(複数回答可)

団体の活動を続けてきて、よかったと思うことについては、「人間関係が広がり、充足感が得られた」が79.0%と最も多く、「社会参加の機会を市民に提供できた」が34.7%、「様々なスキルを習得できた」が31.3%と続いた。

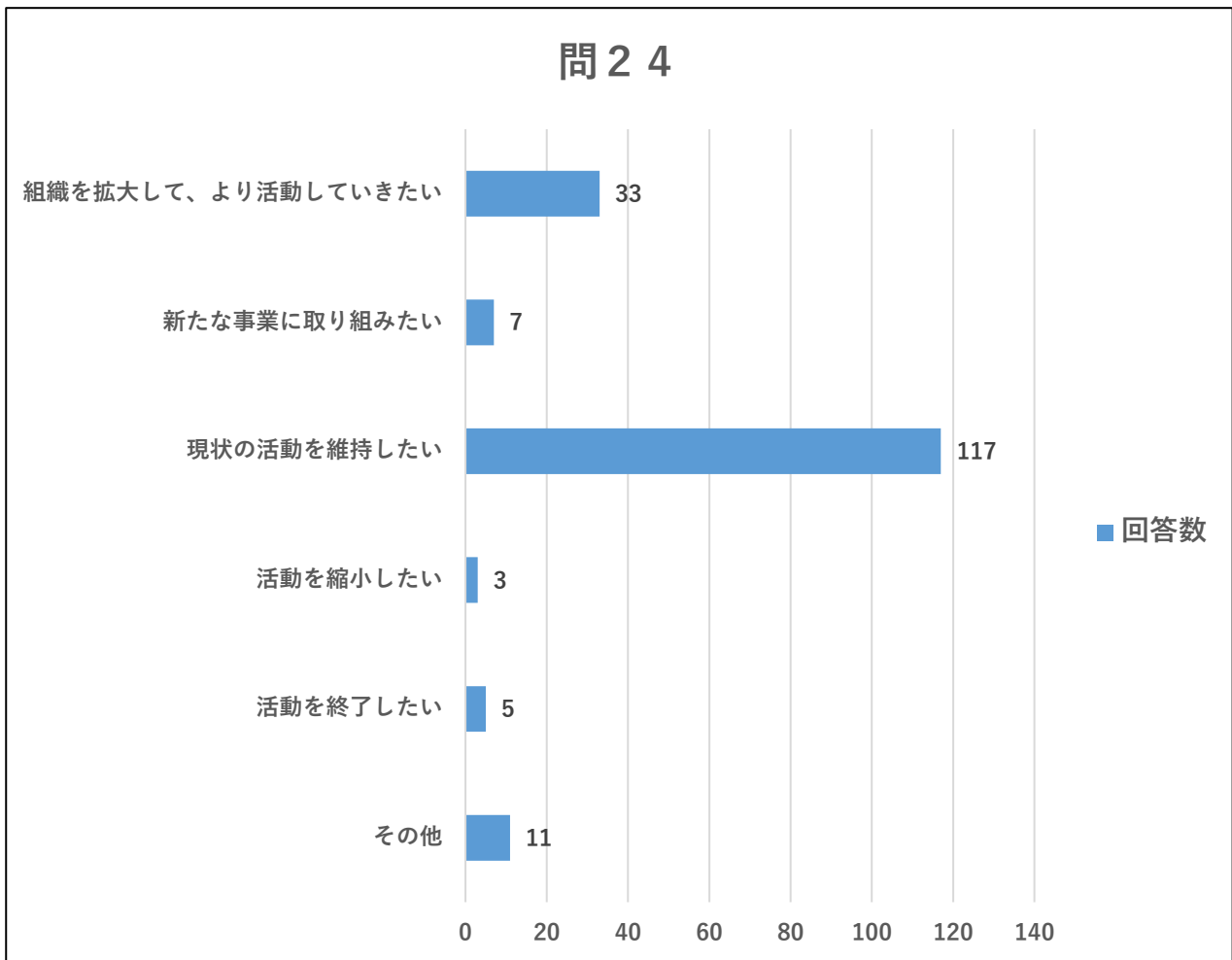


- その他
- ・なし

8 団体の今後の活動について

問24. 今後の団体活動の意向（方針等）はどのようにお考えですか。（一つだけ）

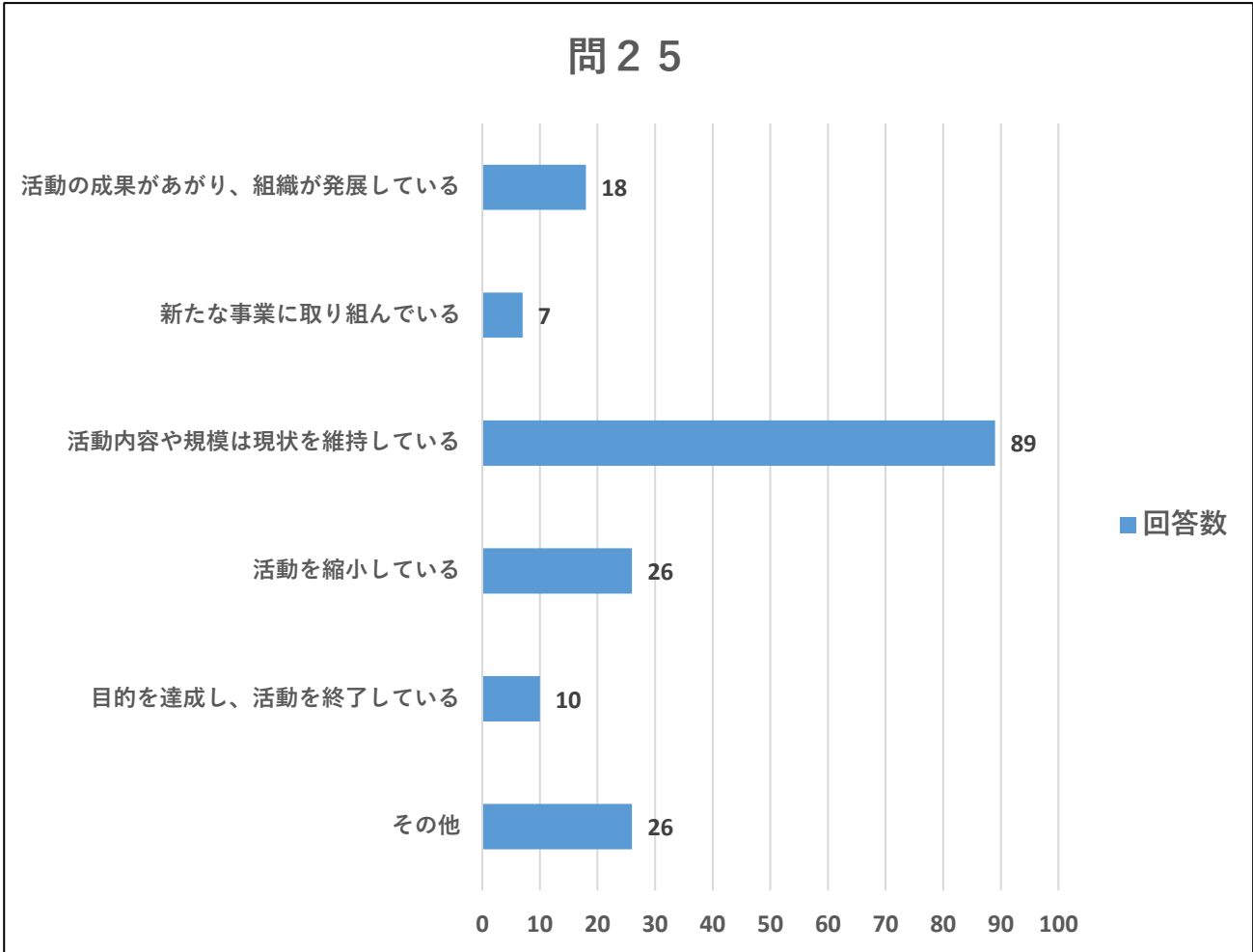
今後の団体活動の意向（方針等）については、「現状の活動を維持したい」が66.5%と最も多く、「組織を拡大して、より活動していきたい」が18.8%、「新たな事業に取り組みたい」が4.0%と続いた。



- その他
- ・なし

問25. 団体の5年後の姿として一番近いと思われるものはどれですか。(一つだけ)

団体の5年後の姿として一番近いと思われるものについては、「活動内容や規模は現状を維持している」が50.6%と最も多く、「活動を縮小している」が14.8%、「活動の成果があがり、組織が発展している」が10.2%と続いた。



- その他
- ・わからない

9 自由記述意見

問26. 市民活動、協働のまちづくり等について自由にご意見等をお書きください。(自由記述)

- ・大きな行事は行政と団体が一体化しないと困難だと感じます。
- ・作品制作意欲が落ちています。メンバーの高齢化で活動も小規模になりました。若いメンバーさんを入会してもらうにはどうしたら良いか。
- ・高齢者の転倒を防ぐために小グループが目的ですが役に立てたらと思います。
- ・元気な高齢者がまちづくりに貢献できるように小規模な集いの場が数多くあれば、何か出来るのではないかと思います。
- ・いつも市役所各課の皆様には大変お世話になりありがとうございます。私たちは自治会であるため、すべてボランティアでの活動になります。その活動のなかで、地域住民相互が協力して生活していくことで、より良い、住みやすい街になっていけばと考えています。そのためには、自治会をはじめとした市民団体と行政等の関係機関が信頼関係をもって、協働していくことは必須だと思いますので、これからもよろしくお願いします。また、地域内の自治会間の関係改善にもお力添えをいただければと思います。
- ・どのような素晴らしい活動も、それに携わる方々の健康があってこそ成り立つのではないのでしょうか。人と人が協力して安心して暮らせる未来のために、健康増進、予防意識を高める活動を必要とくださる方や団体様があれば、喜んで奉仕活動させていただきます。
- ・これを続けていきたい。会員相互のふれあい等楽しみが多い。
- ・現在、グリーンホールの視聴覚室で活動をしていますが使わせていただいているパイプ椅子及び机が古くなり、パイプ椅子の場合背もたれと座わりづらく、声楽の練習に集中できづらいことがあります。また机もグラグラしているものがあり使いづらさを感じます。予算の関係もあるかと思いますがどうかお考えいただけるとありがたいです。宜しくお願いいたします。
- ・当サークルでは役員が2名、会員の会費集金、楽譜の配布等の作業がある為、教室の入口に机が必要で毎回使用させていただいておりますが、どの机もガタガタで1台でもいいですから、しっかりしたのが欲しいです。
- ・市民文化祭の様に発表する場が増えると良いと思います。
- ・今年4月から団体事務局が移転となり事務を団体内で行っているが平日は仕事があり、土日は子供達の指導にあっているので団体の運営が手一杯である。将来的（数年後）には団体運営が行き詰まるのではないかと懸念している。子供達に十分なことをしてやれなくなるのではと心配している。
- ・施設の管理スタッフの方々がよくスムーズに利用させていただいていることに感謝しています。今後も地域の方との健康づくりと体力増強メンタルの強化のために努めていきます。どうぞよろしく願いいたします。一人一人の努力で医療費の消滅に貢献できれば幸いです。

- ・大会の時応援してくださる議員の先生方に感謝しています。
- ・日本の伝統文化楽器を若い人達に継承・継続していく為には市の協力は無くてはならないと思っています。このような伝統文化を盛り上げて行政協力のもと「日本の祭」・・・しいては「四條畷のおまつり」など活性化することで市のまちづくりにも加担できるのではと思います。市内の学校公演の実現などがあれば日本の伝統文化にたずさわる子ども達にもはげみになると思います。まちづくり等すぐに来るものでなく、基本的な活動推進していくことが先決ではないでしょうか。
- ・ただ健康維持だけでなく人生長生きする高齢者が増えてきている現在、医療費をいっぱい使い寝たきりベッド生活の形で長生きすることが一番あってはならないと考えます。生きている限り何かどこかで世のため人のために役に立つ生き方をしようというのが一番の目的で毎日励んでいます。
- ・入会したい人が来られるのですが先生がおられないので見に来られても先生がいないと言うとそこで辞められます。私達も高齢でもっと若い人達につながっていったらと思うのですが、ボランティアで先生をして下さる人がいらっしゃると有り難いです。
- ・現在、太鼓騒音によって練習時間などが規制されています（朝は10時00分～音出しOK、夜は20時までが原則、音楽室の隣の視聴覚室と、音楽室前の会議室4が使用していると予約ができない）自由な時間帯に使用できませんが、春または秋（冷暖房がいない季節）で、施設側の対応策としてホールを貸してくださいます、とても感謝しています。
- ・四條畷市としての文化歴史、まちづくりの為に15回まで開催していた、楠公まつりに対して、非情な形で活動休止させる行政、ボランティアで、市の活性化に努めた市民の方々に対しての否定的なやり方に対して、期待もしていません。
- ・今後のまちづくりには、期待していません。コツコツ積み上げてきた色々なイベントや団体の解散を目にし、現在望みはありません。
- ・コロナの影響もあると思いますが、補助金のカット事務局撤退もあり、四條畷市で市民が積みあげてきたたくさんのイベントがなくなった事に対して、市はどのようにお考えなのか反対に意見を伺いたい。市長は新しいものが生まれるとそれが文化のはじまりであるとの考え。まちづくりを簡単に思っているようでむなしいです。たくさんの市民がボランティアで市の活性化に向けて奉仕してきたことに対してのねぎらいの言葉もなくこの時期にこのアンケート！！統計的な処理・・・なぜか意味不明です。
- ・生涯スポーツとして広く卓球に親しんでもらう為に常設の卓球ルームを作りたいと思います。
- ・コロナ禍4年、現状の会の活動を考えて難しい課題ですね。アンケートを回答するにあたって、他の会員にも意見を求めましたが駄目でした。ごめんなさい。高齢化の波は会の存続にもつながっています。他の会も同じ悩みを持っています。
- ・「協働のまちづくり」は、勿論あるに越したことはない、大事なこととの認識でいます。まちづくりは一団体だけでできることではなく、行政が主導となり市民と団体と行政を縦横から結びつけながら進める事業かと思っております。もう少し行政側が、各団体等の事業に関心を向け、理解し、まちづくりの方向性によって団体等の役割を分担して互いに連携・協力し合えば可能なものだと思われるし、団体としても協力できることは行

っていききたいとみなさん切に思っていることと思います。

- ・市民の皆様演奏を披露する場がもっとあればと思います。既存の行事または新たな行事があればお声かけください。
- ・畷市が福祉方面でも色々尽力頂いている事は存じておりますので、このまま障がいの有無に関わらずひとりの市民として、色々な活動に参加出来る住みよい畷市にと願います。
- ・公共施設の利用についてもう少し門戸を広げて欲しいです。
- ・コロナ禍で高齢の会員の退会が相次いだ。ベテランの方が少なくなったのは指導にあたる方が減ったことに繋がった。新しい会員が少しずつ増えており高齢の方に再び活動に戻っていただき世代を越えて一緒に活動できたらと思う。
- ・サークル活動発表会の復活
- ・市がボランティアガイドをつくり18年後に市から追い出しその直後に市が新たにボランティアガイドをつくる現状。サポーターづくりがいつのまにか同じ名称のボランティアガイドをつくることは納得できない。
- ・若い方の集団活動ばなれ
- ・一般的に高齢化が進み「寝たきり」「痴呆症」等をおくらす事が出来ればと願っています。
- ・最近職場をリタイアした人は何をしてすごしているのだろう。(市民活動、ボランティア、趣味、孫、テレビ、スマホゲーム?・我々の会は市民講座環境コーディネーター育成講座で受講した人の有志により発足した。20年たった現在最近の人の生活状況、考え方も変わって来ていると思うがもう一度新たな同様の講座を開いてみてほしい。
- ・当会は市立公民館で行われる市民企画講座を活動の場としていますが、他団体の活動が少ないように思われます。生涯学習発表の場としても市民企画講座の活動が望まれます。
- ・団体にはいるかどうか?は、自由なものなので、それなら自分達だけで活動していききたいという若い人たちの考えもわかりますが、それだけではバラバラになっていくように思います。かといって、既存の組織を解体して、市は何をしたいのか?をきちんと教えてほしい。困っている人たちがいます。何故、突き放すのか?解体しても良いのかを明確に教えてほしいです。
- ・当団体は、会費制であるため、会費を払って入会したもの同志間での活動しかできない為、大変難しい
- ・市民活動を取り組んでいきたいです。
- ・施設の充実、管理
- ・若い親や子どもたちの意見をしっかり聞いてあげてほしい。
- ・地域の助け合い、つながりは、まずお隣からと実感しています。
- ・音響照明の装置のある小ホールを設置していただきたいと望んでいます。
- ・公民館フェスティバルやまつり in 田原などのサークルの発表の場はあった方がよいと思う。事務局体制など市職員におんぶにだっこではもちろん駄目である。違った型のサークルのお祭りを考えていく必要がある。
- ・会員の高齢化にあわせ思うのは、高齢になったからこそ、皆で集う場が必要で、文化祭に参加したり、日々の小さな目標が出来たり、集う場に出かけることだけでも大きな意味があるのではないかと思います。
- ・定期的に稽古、練習をしているので、会員全員上達し、さらに練習を重ね、上を目指し

ていきたい

- 何をもって町作りと言うのかは、私には良くわかりませんが、何かのイベントなどに参加して、知り合いが増えたりすることは、将来の災害に備えた活動としても良いことだと思いますので、地域で集まることは大切だと思います。「あそこで会った」と言うのは心強いかなと思います。四條畷市と言う小さな町ですから、伝統行事やイベント等に積極的に参加して行けるように仕向けていくのも、行政の方々の役割なのかなと思います。市役所の皆さんが身近に思える町作りが大切です。たくさん若い方々を集結させるには、子供会や学校行事の他にはスポーツ少年団や文化体験等で子ども+親の参加を促していく必要があります。その為の努力を惜しまず動いてくだされば、四條畷市は住み良い町として沢山の新たに入居者を望めるのではありませんか？老人の町ではなくて、若者が中心に動ける町作りが出来るように、今までの行事を壊さず新たな物も産み出していく事が必要ですね。また、廃校した学校の備品をどうするのか？廃棄？もったいない？よく考えてほしいです。
- 行政の理解度が、少ないので非常に、活動しにくい。管理職の言葉に、一貫性がないので（個人の意見が多い）ので、迷惑をかけられたことが、何回もある。よき指導者養成をしてほしい。特に、各種団体に、指導できる人の要請を、希望する。
- 四條畷市手話言語条例の制定が、市民に広がっていない。実効のある政策が行われていない。これらを抜本的に改善し、地域の変化につながる（手話の普及、ろうあ者理解）動きが欲しい。
- 四條畷の自然を生かした設備を充実し、飲食ができる場所を充実していく。市役所などに食堂が出来ると嬉しい。
- 同じ志を持った仲間と共に役立つ活動が出来ることは、とても嬉しい事です。市の職員皆様に見守っていただき、元気で仲良く続けていけたらと願っています。よろしく願いします。
- 市内のサークルがいつでも目に出来るチラシなどを見やすく掲示されている場所があればいいかなと思います。独自でのアピール、宣伝は難しいでした。活動を若い世代に引き継ぐことはできませんでした。今の会員でやれるところまで続けていきたいと思っています。
- 企画・立案の段階から市民と行政が議論を起こす雰囲気を醸成したい
- 高齢化とともにコロナがあつたりで以前より休みごとが多くなりましたが、それでも月1回は活動したいと思っています。
- 市として、市民活動、協働のまちづくりに力を入れておられることは、大変心強いです。行政は、市民活動に対して「資金や場を提供するが、口は出さない」というのが最も助かりますが、公金である以上一定の「しぼり」があることは仕方ないと思います。「しぼり」をむしろ自分たちの活動の指標として、一層励みたく思います。
- 会員が楽しく、安全に活動できるよう心掛けています。
- ゆっくりであるが、障がい者も社会参加、活動がしやすくなった。でもまだまだである。国際障害者権利条約に近づけるよう、活動したい。・まずはボッチャである、スポーツ界のノーマライゼーションである。市民体育祭に障がい者も参加できるようにしたい。
- 保健センターが支援し、健康づくりの輪を広げようと当サークル（ハイキング主体）が

発足。一時期40名近くまで増加。活動開始から約20年、当時60代だった人も80代。若手メンバーも入りましたが75～86歳で現在20人です。5年後には全員が80歳以上でほとんどが85歳以上となります。心配です。

以下、市民団体アンケート調査票

四條畷市市民団体アンケート調査票

日頃から、協働のまちづくりの推進にご協力をいただきましてありがとうございます。

本市では、第6次四條畷市総合計画の将来像である「自然と歴史をいつくしみ やすらぎ
ぬくもり にぎわいをそだてよう みんなの夢をつくるまち 四條畷」をめざして、各分野に
おいて「四條畷市みんなで作る協働のまちづくり指針」に基づいて協働を基調としたまちづ
くりを推進しております。

これまで、本市では、協働のまちづくりを推進していくにあたり、身近な問題や、地域、社
会的な課題等に自主的に取り組まれているボランティア団体など市民団体の皆様の活動が、重
要であるとの考えのもと、市民団体の更なる自主的・自律的な活動を推進するために、「団体
事務局事務の見直し」や「公募型協働のまちづくり提案事業補助金制度」の創設などに取り組
んできました。

この調査は、上記の取り組み状況などを踏まえ、自主的に活躍されている市民団体の皆様の
活動状況、課題、今後の意向等に対するご意見をお伺いし、皆様がより活発に活動できるよ
うな取り組みを進めるための基礎資料を得ることを目的に行うものです。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解の上、回答にご協力くださいますようお
願いたします。

令和5年9月 四條畷市市民生活部地域振興課長

【ご記入の注意事項】

ご回答いただいた個別の情報につきましては、統計的に処理を施し、回答をそのままの形で
公表すること、及び個人や団体等が特定できる形で公表することは一切ありません。

※ご記入いただいた調査票は、令和5年10月18日（水）までにご回答ください。

(お問い合わせ先) 四條畷市 市民生活部 地域振興課 担当：奥、森
電話：072-877-2121 (代表) 内線643
0743-71-0330
FAX：072-877-8300
E-mail：sanrou@city.shijonawate.lg.jp

1 貴団体について

問1 団体名を教えてください。

問2 団体の活動年数（活動を始めてからの年数）はどれくらいですか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 |
| 3. 3年以上5年未満 | 4. 5年以上10年未満 |
| 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上 |

問3 団体の現時点の会員数はどのくらいですか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

※サービスを楽しむ側や、イベントに参加するだけの人は除きます。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 5人未満 | 2. 5人以上10人未満 |
| 3. 10人以上20人未満 | 4. 20人以上30人未満 |
| 5. 30人以上50人未満 | 6. 50人以上 |

問4 団体の主な活動地域について、当てはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 小学校区よりも小さな区域 | 2. 小学校区 |
| 3. 四條畷市内 | 4. 北河内地域 |
| 5. 大阪府内 | 6. 全国 |

問5 団体の活動分野はどれですか。最も当てはまるもの1つに◎、他の当てはまるものすべてに○を付けてください。

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 1. 保健・医療・福祉 | 2. 社会教育 |
| 3. まちづくり | 4. 観光振興 |
| 5. 農山漁村・中山間地域振興 | 6. 学術・文化・芸術・スポーツ |
| 7. 環境保全 | 8. 災害救援 |
| 9. 地域安全 | 10. 人権・平和 |
| 11. 国際協力 | 12. 男女共同参画社会 |
| 13. 子どもの健全育成 | 14. 情報化社会 |
| 15. 科学技術 | 16. 経済活動活性化 |
| 17. 職業能力開発・雇用 | 18. 消費者保護 |
| 19. NPO活動支援 | 20. その他（ ） |

3 団体の課題等について

問12 活動の中で課題や問題点はありますか。またある場合は、どのようなものですか。当てはまるものすべてに○を付けてください。

1. 課題や問題点がある (a~kで当てはまるものすべてに○を付けてください)

- a. 活動メンバーや会員が少ない
- b. 会員の高齢化が進んでいる
- c. 役員のなり手がいない
- d. 新しい会員が増えない
- e. 活動場所が少ない
- f. 活動をPRする方法が少ない
- g. 団体の運営に必要な知識が不足している
- h. 事業実施に必要な知識が不足している
- i. 他の団体と情報交換の機会が少ない
- j. 相談できる相手がいない
- k. その他 ()

2. 今のところ課題や問題点はない

問13 現在、あなたの団体が必要としているのはどのような人ですか。当てはまるものすべてに○を付けてください。

1. 活動を手伝ってくれるボランティア
2. 一緒に活動を楽しめる仲間
3. 事務や会計が出来る人 (パソコン作業を含む)
4. 情報関連業務 (ホームページの管理やツイッターなど) が得意な人
5. 対外的な交渉や広報が得意な人
6. 事業企画が出来る人
7. その他 ()
8. 特に必要はない

問14 人材確保のために取り組みたいことについて、当てはまるものすべてに○を付けてください。

1. 個人ボランティアの受け入れ
2. 退職世代の受け入れ
3. 学生ボランティアの受け入れ
4. 企業からのボランティアの受け入れ
5. 新たな会員の確保
6. その他 ()
7. 特にない・わからない

問15 団体の活動に必要な情報は何ですか。当てはまるものすべてに○を付けてください。

1. 活動の場所や施設に関する情報
2. 他の団体の活動に関する情報 (連携の可能性等)
3. 活動資金や補助金に関する情報
4. その他 ()

4 団体間の連携・ネットワークについて

問16 他の団体と連携して活動を行ったことがありますか。当てはまるものすべてに○を付けてください。

1. 同じ活動分野の市民団体
2. 違う分野の市民団体
3. 社会福祉協議会
4. 四條畷市役所
5. 四條畷市以外の行政（近隣市町村、大阪府、国等）
6. 企業・事業所・店舗・商店会・商工会等
7. 保育園・幼稚園・小中学校・高校・大学
8. 自治会
9. その他（ ）
10. 他の団体と連携したことはない

問17 今後どのような団体と連携・ネットワークをお考えですか。当てはまるものすべてに○を付けてください。

1. 同じ活動分野の市民団体
2. 違う分野の市民団体
3. 社会福祉法人等（社会福祉協議会、社会福祉施設等）
4. 行政（市町村、都道府県、国等）
5. 企業・事業所・店舗・商店会・商工会等
6. 保育園・幼稚園・小中学校・高校・大学
7. 自治会
8. その他（ ）
9. 他の団体と連携やネットワークは考えていない

5 公募型補助金について

問18 本市では、平成30年に市民活動団体等の自由な発想による、地域課題の解決等に向けた自立的な活動に要する経費の一部を支援する「四條畷市公募型協働のまちづくり提案事業補助金」制度を創設しました。この制度について知っていますか。また知っている場合、ご意見がございましたらご記入ください。

1. 知っている

【意見】

2. 知らない

6 団体の活動の継続・発展について

問19 団体の活動を継続・発展に必要なことについて、当てはまるものすべてに○を付けてください。

1. 市民活動に関する相談機能の充実
2. 市民活動に関する情報の提供
3. 活動のノウハウを学ぶための講座・研修会
4. 資金面の支援
5. 会議室などの活動場所の確保
6. 事務機器や備品などの貸出支援
7. 広報媒体の援助
8. 市民団体同士の交流の場
9. 事業者の社会貢献と市民活動を結びつける仕組みづくり
10. その他（ ）

問20 団体の組織運営や事業実施について、困ったときに相談しに行くところがありますか（市内外は問わない）。当てはまるもの1つに○を付けてください。

1. ある
2. ない（わからない）
3. 相談の必要性を感じたことはない

問21 団体の活動する上での市の支援に期待するものについて、当てはまるものに○を付けてください。（3つ以内）

1. 市民活動に関する相談機能の充実
2. 団体の運営に関するアドバイス
3. 活動に対する方向性などについての客観的なアドバイス
4. 公益活動実施のアドバイス
5. 活動資金確保のアドバイス
6. 会議室などの活動場所の確保
7. 事務機器や備品などの貸出機材の充実（印刷機、裁断機、紙折り機 等）
8. 市民団体同士の交流の場
9. 事業者の社会貢献と市民活動を結びつける仕組みづくり
10. その他（ ）
11. 特にない

7 団体や活動の変化について

問22 あなたの団体の活動は、発足当時と現在とを比べて変わっていますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

1. 活動に変わりはなく、特に支障はない
2. 活動内容が変わりがないが、ニーズの変化を感じる
3. ニーズの変化に応じて活動内容を変えてきた（以下にご記入願います）

(具体的に)

4. その他（ ）

問23 団体の活動を続けてきて、よかったと思うことは何ですか。当てはまるものすべてに○を付けてください。

1. 地域や社会の課題解決につながった
2. 社会参加の機会を市民に提供できた
3. 人間関係が広がり、充足感が得られた
4. 様々なスキルを習得できた
5. 社会的な認知や評価を得られた
6. 活動の担い手を育成できた
7. その他（ ）
8. よかったと思うことはない

8 団体の今後の活動について

問24 今後の団体活動の意向（方針等）はどのようにお考えですか。当てはまるものを1つ選んで○を付けてください。

1. 組織を拡大して、より活動していきたい
2. 新たな事業に取り組みたい
3. 現状の活動を維持したい
4. 活動を縮小したい
5. 活動を終了したい
6. その他（ ）

問25 団体の5年後の姿として一番近いと思われるものはどれですか。当てはまるものを1つ選んで○を付けてください。

1. 活動の成果があがり、組織が発展している
2. 新たな事業に取り組んでいる
3. 活動内容や規模は現状を維持している
4. 活動を縮小している
5. 目的を達成し、活動を終了している
6. その他（ ）

9 自由記述意見

問26 市民活動、協働のまちづくり等について自由にご意見等をお書きください。

ご協力いただき、ありがとうございました。以上でアンケートは終了です。